岡山大学

OKAYAMA UNIVERSITY

2021 大学概要



世界への扉を開く



織

革

職

义

統

際交



目 次

歴代学長	2
学年暦	2
理念・目的・目標	3
沿革	۷
組織図	6
	8
教育研究組織等	11
大学院]]
学部 専攻科・別科	12 12
学術研究院	13
研究所	13
岡山大学病院	13
全学センター	14
附属学校	15
附属図書館	15
共同利用・共同研究拠点	15
教育関係共同利用拠点 機構	15 16
(校博 ダイバーシティ推進本部	16
SDGs推進本部	16
国際学都おかやま共創本部	16
オープンイノベーション機構	16
グローバル最先端異分野融合研究機構	16
海外拠点	17
統計	18
	18
学生数	20
児童・生徒及び園児数	23
入学者数	23
卒業者進路(修了者就職状況)	25
奨学生数 学位授与者数	27 28
学位校 子有奴 岡山大学病院病床数及び患者数	28
国際交流	29
協定大学等分布	29
協定一覧	20
海外留学者数の推移 外国人留学生数の推移	31 31
	ا ت
教員の海外海航老粉取び	
教員の海外渡航者数及び 外国人研究者受入状況	33
外国人研究者受入状況	33
外国人研究者受入状況 財政	34
外国人研究者受入状況	
外国人研究者受入状況 財政	34
対国人研究者受入状況財政土地・建物	34
対国人研究者受入状況財政土地・建物諸施設	34 36 38
対国人研究者受入状況財政土地・建物諸施設社会連携	34 36 38 40

	1/					N. N.
i i	4	4		M	X	
				14		43
F. Contraction						
	1		Mary 1 to			W.
	*			× ,	人生	
	<u> </u>	30			T.	
					1000	
						- La
						30
	4					
2 10			1.45			
	4	T				
		-				
			=	1		
				7		
6	51					
	法是		100	* 27	100	

歴代学長



第14代学長 医学博士 槇 野 博 史

林	道倫	昭和24.5.31	~昭和24.6.28※
林	道倫	昭和24.6.29	~昭和27.7.25
清水	多榮	昭和27.7.26	~昭和33.1.30
藤原	秀勝	昭和33.1.31	~昭和33.5.31※
八木	日出雄	昭和33.6.1	~昭和37.5.31
服部	静夫	昭和37.6.1	~昭和39.4.30
赤木	五郎	昭和39.5.1	~昭和44.5.9
谷口	澄夫	昭和44.5.9	~昭和44.6.13※
谷口	澄夫	昭和44.6.14	~昭和50.6.13
小 坂	淳 夫	昭和50.6.14	~昭和56.6.13
大 藤	眞	昭和56.6.14	~昭和62.6.13
髙橋	克明	昭和62.6.14	~平成 5.6.13
小坂	二度見	平成 5.6.14	~平成11.6.13
河野	伊一郎	平成11.6.14	~平成17.6.13
千 葉	喬 三	平成17.6.14	~平成23.3.31
森田	潔	平成23.4. 1	~平成29.3.31
 槇 野	博史	平成29.4. 1	~

注:※印は、学長事務取扱を表す。

学年暦

4月 1日	学年始め、第1学期開始、 前期開始(大学院、法学部夜間主コース及び経済学部夜間主コース)
4月 2日	入学式
6月10日	第1学期終了
6月11日	第2学期開始
8月10日	第2学期終了
8月11日	夏季休業(~9月30日)
9月24日	学位記等授与式
9月30日	前期終了(大学院、法学部夜間主コース及び経済学部夜間主コース)
10月 1日	第3学期開始、 後期開始(大学院、法学部夜間主コース及び経済学部夜間主コース)
10月 1日	秋季入学式
10月22日	開学記念日
12月 1日	第3学期終了
12月 2日	第4学期開始
12月25日	冬季休業(~1月4日)
2月14日	第4学期終了
2月15日	春季休業(~3月31日)
3月25日	学位記等授与式
3月31日	後期終了(大学院、法学部夜間主コース及び経済学部夜間主コース)、学年終了

:/\

沿

組

組

図

役

職

貝 教育研究組織

統

計 国際交

流 対政、土地・建物、諸施設、

T

理念

"高度な知の創成と的確な知の継承"

人類社会を安定的、持続的に進展させるためには、常に新たな知識基盤を構築していかねばなりません。 岡山大学は、公的な知の府として、高度な知の創成と的確な知の継承を通じて人類社会の発展に貢献します。

9 目的

"人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築"

岡山大学は、「自然と人間の共生」に関わる、環境、エネルギー、食料、経済、保健、安全、教育等々の困難な諸課題に対し、既存の知的体系を発展させた新たな発想の展開により問題解決に当たるという、人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築を大学の目的とします。

このため、我が国有数の総合大学の特色を活かし、既存の学問領域を融合した総合大学院制を基盤にして、 高度な研究とその研究成果に基づく充実した教育を実施します。

1 目標

(1) 教育の基本的目標

岡山大学は、大学が要請される最重要な使命である教育活動を充実させます。

これまでの高度な研究活動の成果を基礎として、学生が主体的に"知の創成"に参画し得る能力を涵養するとともに、学生同士や教職員との密接な対話や議論を通じて、個々人が豊かな人間性を醸成できるように支援し、国内外の幅広い分野において中核的に活躍し得る高い総合的能力と人格を備えた人材の育成を目的とした教育を行います。

(2) 研究の基本的目標

岡山大学におけるあらゆる活動の源泉は、先進的かつ高度な研究の推進にあります。

常に世界最高水準の研究成果を生み出すことをその主題とし、国際的に上位の研究機関となるよう指向します。

(3) 社会貢献の基本的目標

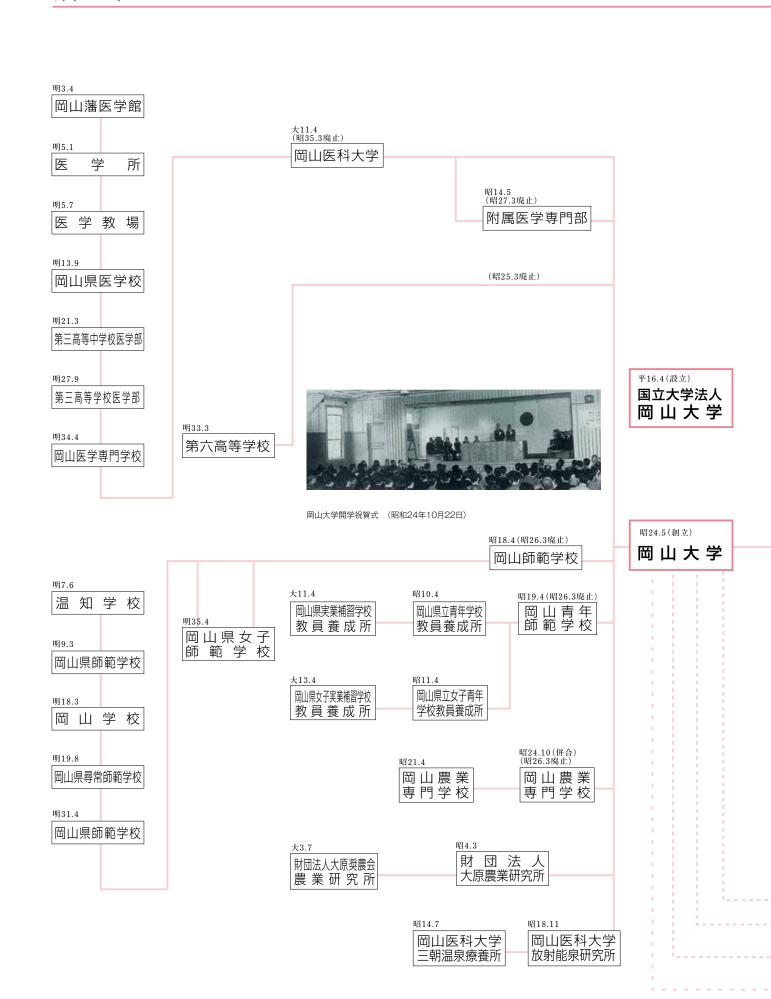
社会が抱える課題を解決するため、総合大学の利点を活かし、大学の知や技術の成果を社会に還元すると同時に、積極的に社会との双方向的な連携を目指します。

(4) 経営の基本的目標

研究、教育の目標を効果的に達成するため、大学に賦存する人材、財政、施設設備などの資源をトップマネジメントにより戦略的に利活用します。

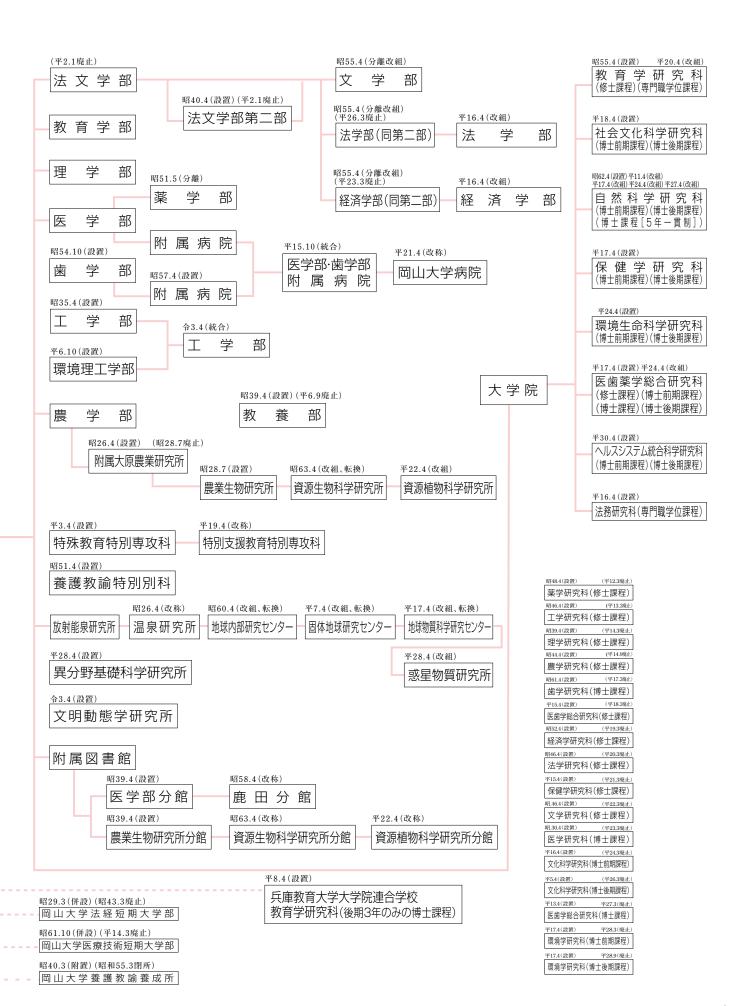
(5) 自己点検評価の基本的目標

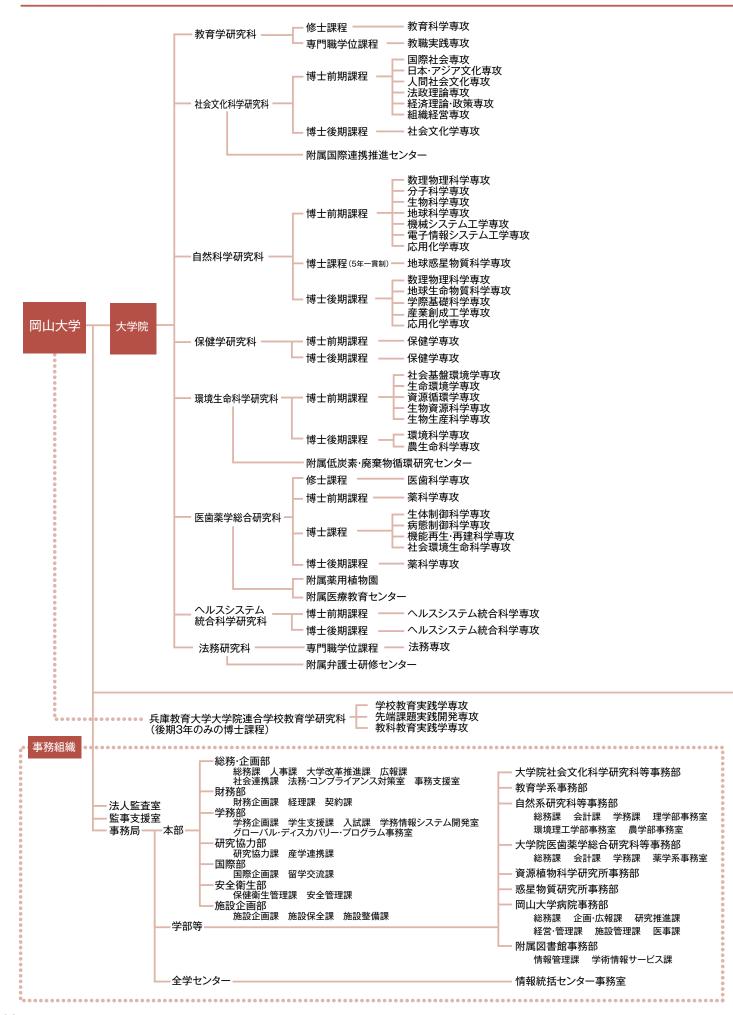
公的機関として社会への説明責任を果たすため、研究、教育、社会貢献、管理運営のすべての分野において不断の自己点検評価を実施し公表するとともに、その結果を的確に大学改革に反映します。



統

流







学長	槇	野	博 史
理事(企画・評価・総務担当)	高	橋	香 代
理事(教学担当)·総括副学長	舟	橋	弘 晃
理事(研究担当)·副学長	那	須	保 友
理事(医療担当)・岡山大学病院長	前	田	嘉信
理事(財務・施設担当)・事務局長	袖	Щ	禎 之
理事(特命(デシルトランスフォーメーション推進)担当)・副学長	冏	 部	匡 伸
理事 (特命 (経営力強化) 担当) (非常勤)	青	Щ	竜文
監事	青	Щ	肇
mu チ 監事(非常勤)	大	原	ェ あかね
上席副学長(特命(社会連携)担当)	加	賀	勝
上席副学長 上席副学長	ЛΗ	貝	ממו
工/吊画/子 /▼ (特命(法務・コンフライアンス・タイハーシティ&インクルーション)担当)	神	例	康博
上席副学長			
エ席副字長 (特命(クローハル・エンケーシメント戦略)担当)	横	井	篤 文
	Ξ	1.1	由香里
副学長(特命(組織改革)担当)		村	
副学長(教育担当)	伊田	野	英男
副学長(入試改革担当)	田	中	岳
副学長(国際担当)	鈴	木	孝 義
副学長(特命(クローバルヘルス)担当)	浅	海	淳一
副理事(SDGs担当)	狩	野	光伸
副理事(内部統制・がけンスコード担当)	鈴	木	隆元
副理事(国際経営戦略担当)	釣		雅雄
副理事(教学マネシメント担当)	石	田	衛
副理事(高大接続·共創教育·SDGs教育担当)	吉	Ш	幸
副理事(研究・産学共創担当)	林		靖彦
副理事(研究・産学共創担当)	佐	藤	法仁
副理事(研究・産学共創担当)	=	野	元靖
副理事(テンタルトランスフォーメーション・情報セキュリティ担当)	野	上	保之
副理事(イノベーションコモンス担当)	綾	野	克紀
エグゼクティブ・アドバイザー	菅	±Ĵ	裕明
		田マ	
エグゼクティブ・アドバイザー	星	野 ++	俊也
学長特別補佐	小	村	俊平
学長特別補佐	髙	﨑	洋介
学長補佐	植	田	宏
教育学研究科		4.1	
研究科長	Ξ	村	由香里
研究科長 副研究科長	西	Щ	修
研究科長 副研究科長 副研究科長	西 小	山 川	修 容 子
研究科長 副研究科長 副研究科長	西	Щ	修 容 子
研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長	西 小	山 川	修
研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 社 会文化科学研究科	西 小	山 川	修 容 子
研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 社会文化科学研究科 研究科長	西小髙	山 川 瀬	修 容 字 祐 馬
研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 社会文化科学研究科 研究科長 副研究科長	西小髙河	山川瀬原佐	容
研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 社会文化科学研究科 研究科長 副研究科長 副研究科長	西小高河遊塩	山川瀬原佐谷	容 祐
研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 社会文化科学研究科 研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長	西小高河遊塩津	山川瀬原佐谷守	容 祐 貴
研究科長 副研究科長 副研究科長 社会文化科学研究科 研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長	西小高河遊塩	山川瀬原佐谷	容 祐
研究科長 副研究科長 副研究科長 計研究科長 社会文化科学研究科 研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長	西小髙 河遊塩津河	山川瀬原佐谷守原	容祐貴祐
研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 社会文化科学研究科 研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 耐属国際連携推進センター長 自然科学研究科 研究科長	西小高河遊塩津河鶴	山川瀬 原佐谷守原 田	容 祐 貴祐 健子淳 馬徹毅行馬 二
研究科長 副研究科長 副研究科長 社会文化科学研究科 研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 耐属国際連携推進センター長 自然科学研究科 研究科長	西小髙 河遊塩津河 鶴池	山川瀬原佐谷守原田田	容 祐 貴 毒 本 企
研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 研究科長 副研究科長	西小髙 河遊塩津河 鶴池竹	山川瀬 原佐谷守原 田田内	容 祐 貴祐 建 修子淳 馬徹毅行馬 二直栄
研究科長 副研究科長 副研究科長 社会文化科学研究科 研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 耐属国際連携推進センター長 自然科学研究科 研究科長	西小髙 河遊塩津河 鶴池	山川瀬原佐谷守原田田	容祐貴祐建二直栄
研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 研究科長 副研究科長	西小髙 河遊塩津河 鶴池竹	山川瀬 原佐谷守原 田田内	容 祐 貴 毒 本 企
研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 社会文化科学研究科 研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 明研究科長 明研究科長 明研究科長 明研究科長 明研究科長 明研究科長	西小髙 河遊塩津河 鶴池竹岸 廣	山川瀬 原佐谷守原 田田内本 畑	容 祐 貴祐 健 路
研究科長 副研究科長 副研究科長 社会文化科学研究科 研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 国研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長 副研究科長	西小髙 河遊塩津河 鶴池竹岸	山川瀬 原佐谷守原 田田内本	容 祐 貴祐 健 修子淳 馬徹毅行馬 二直栄昭

		고사이	-3月1日現任
環境生命科学研究科			
研究科長	村	田	芳 行
副研究科長	西	Щ	哲
副研究科長	森		也寸志
副研究科長	後	藤	丹十郎
附属低炭素・廃棄物循環研究センター長	村	\blacksquare	芳 行
医歯薬学総合研究科			
研究科長	伊	達	勲
副研究科長	上	原	孝
副研究科長		果田	聡
副研究科長	Ξ	好	伸一
副研究科長	長	塚	仁
副研究科長	豊	畄	伸一
附属薬用植物園長	Ξ	好	伸一
附属医療教育センター長	伊	達	勲
ヘルスシステム統合科学研究科	_	7 <u>=</u>	np <u>+</u>
研究科長	五	福	明夫
副研究科長	德	光	浩
副研究科長	吉	葉	恭行
法務研究科			
研究科長	佐	藤	吾 郎
副研究科長	始鈴	旅木	音
副研究科長	米	Щ	毅一郎
附属弁護士研修センター長	吉	野	夏己
文学部			
学部長	宮	崎	和人
副学部長	I 清	家	章
副学部長	北	川	博史
田子中区	10	711	IA X
教育学部			
学部長	Ξ	村	由香里
副学部長	西	Щ	修
副学部長	/]\	Ш	容 子
副学部長	髙	瀬	淳
附属幼稚園長	井	Щ	房子
附属小学校長	前	Ш	潔
附属中学校長	前	<u> </u>	潔
附属特別支援学校長	仲	矢	明孝
剂(A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	IΤ		7) +
法学部			
学部長	黒	神	直純
副学部長	築	島	尚
副学部長	赤	木	真美
経済学部			
学部長	張		星源
副学部長	古	松	紀子
副学部長	岸	田	研作
理学或			
理学部	±	 	/真 ·th
学部長	市	出	優 典
副学部長	中へ	越	英樹
副学部長	金	田	隆
附属臨海実験所長	坂	本	竜 哉
附属界面科学研究施設長	横	谷	尚睦
医学部			
学部長	豊	岡	伸一
子中安 副学部長	豆成	瀬	恵治
副学部長	森	本	美智子

役

歯学部				
学部長	長	塚		仁
副学部長	森	田		学
副学部長	畄	元	邦	彰
薬学部				
学部長	Ξ	好	伸	_
副学部長	檜	垣	和	孝
副学部長	黒	﨑	勇	_
工学部				
	菅		誠	治
副学部長	岡	安	光	博
副学部長	今	村	維	克
副学部長	豊	田	啓	孝
副学部長	難	波	徳	郎
副学部長	近	森	秀	高
環境理工学部				
学部長	菅		誠	治
副学部長	近	森	秀	高
副学部長	難	波	徳	郎
農学部				
学部長	木	村	吉	伸
副学部長	久	保	康	隆
副学部長	宮	竹	貴	久
附属山陽圏フィールド科学センター長	齊	藤	邦	行
グローバル・ディスカバリー・プログラ	ラム			
ディレクター	上	田		均
副ディレクター	味	野	道	信
副ディレクター	石	田	~_	衛
資源植物科学研究所				
所長	平	Щ	隆	志
副所長	Щ	本	敏	央
附属大麦・野生植物資源研究センター長	佐	藤	和	広
惑星物質研究所				
所長	薛		献	宇
副所長	芳	野		極
異分野基礎科学研究所				
所長	高	橋	裕-	一郎
副所長	沈		建	1_
文明動態学研究所				
所長	松	本	直	子
副所長	中	谷	文	美
岡山大学病院				
病院長	前	田	嘉	信
副病院長	森	実		真
副病院長	大	塚	文	男
副病院長	増	<u>川</u>		寿
副病院長	浅	海	淳	_
副病院長	伊	野	英	男
副病院長	上	岡		寛
副病院長	塚	原	宏	_
副病院長	岩岩	谷	美貴	量子
全学センター		,		
<u>主字センター</u> 評価センター長	伊	藤	武	彦
保健管理センター長	岩岩	﨑	良	章
MIKE ELI / K	·H	r-HJ	11	

環境管理センター長情報統括センター長グローバル人材育成院長地域総合研究センター長地域総合研究センター副センター長教師教育開発センター副センター長教師教育開発センター副センター長教師教育開発センター副センター長中性子医療研究センター長中性子医療研究センター長自然生命科学研究支援センター長自然生命科学研究支援センター長生殖補助医療技術教育研究センター長生殖補助医療技術教育研究センター長生殖補助医療技術教育研究セット副セット長生殖が大手調査研究センター長埋蔵文化財調査研究センター長埋蔵文化財調査研究センター副セッター長	寺村鈴三岩三髙堀那古那寺舟荒木袖清東上木村淵村旗井須矢須東橋尾村山家	宏昌孝 由浩博保修保宏弘雄吉禎明己義聡泰里志司友一友明晃郎伸之章
附属図書館		
館長	甲賀	研一郎
副館長	本 村	昌文
副館長	藤井	達生
鹿田分館長	鵜 殿	平一郎
資源植物科学研究所分館長	GALIS	IVAN
全学教育・学生支援機構		
機構長	舟 橋	弘 晃
副機構長	伊野	英男
副機構長	田中	岳
	ш ,	
研究推進機構		
機構長	那須	保友
副機構長	三 野	元靖
副機構長	浅 田	学
安全衛生推進機構		
機構長	袖山	禎 之
副機構長	寺 東	宏明
→ マケッロ・小		
事務組織	±1. (A+	元七 - 1公
法人監査室長	松浦	政裕
[事務局]		
事務局長	袖山	禎 之
調整役	三 野	元靖
[本部]		
総務・企画部長	髙 月	希一郎
総務課長	長谷川	
人事課長	高 橋	拓 哉 伸 二
大学改革推進課長 広報課長	林 妹 尾	忠 和 成
心報 試支 社会連携課長	然	和規
在去連携課長 法務・コンプライアンス対策室長	高 杉	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
法務・コンノノイアン人対衆至長 事務支援室長	高橋	布一郎 伸 二
財務部長	神 達	進
財務企画課長	田坂	知久
知贺止画味女 経理課長	田 坂 阿 部	和 久 貴 之
契約課長	直原	敦美
学務部長		秀治
学務企画課長		勝 弘 善
学生支援課長	宮 脇	
入試課長	石 田	達彦

グローバル・ディスカバリー・プログラム事務室長 荒 木 秀 治 自然系研究科等理学部事務室長 秋	人 山	佳 子
研究協力部長 山 﨑 淳一郎 自然系研究科等環境理工学部事務室長 原	田	大 作
研究協力部付課長 高城 幸治 自然系研究科等農学部事務室長 加	1 納	睦
研究協力課長 山 﨑 征 洋 大学院医歯薬学総合研究科等事務部長 有	ī 川	正二
産学連携課長 恒 國 昭 二 大学院医歯薬学総合研究科等総務課長 大	田	学
国際部長 原 田 美 樹 大学院医歯薬学総合研究科等会計課長 岡	﨑	安洋
国際企画課長 山 形 裕 子 大学院医歯薬学総合研究科等学務課長 近	宜常	聡
留学交流課長	原	秀起
安全衛生部長 長 砂 毅 資源植物科学研究所事務長 近	藤	一彦
保健衛生管理課長 兼 田 修 平 惑星物質研究所事務長 山	1 下	泰彦
安全管理課長	井	精一
施設企画部長 岩 永 仁		克己
施設企画課長 近藤 道広 岡山大学病院企画・広報課長 早	旦川	みどり
施設保全課長	」本	雅紀
施設整備課長 竹 内 真 司 岡山大学病院経営·管理課長 三	枝	豊
岡山大学病院施設管理課長 米	く 澤	公 二
[学部等]	(家	隆
大学院社会文化科学研究科等事務長 木 村 勝 弘 附属図書館事務部長 奥	1 村	小百合
教育学系事務長	系 谷	めぐみ
自然系研究科等事務部長 徳山 久丈 附属図書館学術情報サービス課長 冨		達治
自然系研究科等総務課長 原田 大作 1350年1250年1250年1250年1250年1250年1250年1250年12	1 1.3	~= /H
自然系研究科等会計課長 岸 繁樹 [全学センター]		
自然系研究科等学務課長 中山 達也 情報統括センター事務室長 石	黒	智 幸

経営協議会委員

	令和3年5月1日現在							
学長	槇	野	博	史	日本司法支援センター理事長	板	東	久美子
理事(企画・評価・総務担当)	高	橋	香	代	岡山県教育委員会教育長	鍵	本	芳 明
理事(教学担当)	舟	橋	弘	晃	倉敷市長	伊	東	香 織
理事(研究担当)	那	須	保	友	学校法人川崎学園理事長	Ш	﨑	誠 治
理事(医療担当)	前	田	嘉	信	弁護士法人太陽綜合法律事務所 代表弁護士	近	藤	弦之介
理事(財務・施設担当)	袖	Щ	禎	之	株式会社山陽新聞社代表取締役社長	松	田	正己
理事(特命(テンタルトランスフォーメーション推進)担当)	冏	部	王	伸	株式会社中国銀行代表取締役頭取	加	藤	貞 則
名古屋外国語大学長	亀	Щ	郁	夫	岡山トヨタ自動車株式会社代表取締役社長	梶	谷	俊 介

教育研究評議会評議員

						•	令和3年	F5月1E]現在
学長	槇	野	博	史	大学院保健学研究科長	廣	畑		聡
理事(企画・評価・総務担当)	高	橋	香	代	大学院環境生命科学研究科長	村	田	芳	行
理事(教学担当)	舟	橋	弘	晃	大学院医歯薬学総合研究科長	伊	達		勲
理事(研究担当)	那	須	保	友	大学院ヘルスシステム統合科学研究科長	五	福	明	夫
理事(医療担当)	前	田	嘉	信	大学院法務研究科長	佐	藤	吾	郎
理事(財務・施設担当)	袖	Щ	禎	之	文学部長	宮	崎	和	人
理事(特命(テンタルトランスフォーメーション推進)担当)	冏	部	王	伸	法学部長	黒	神	直	純
上席副学長(特命(社会連携)担当)	加	賀		勝	経済学部長	張		星	源
上席副学長	神	例	康	博	理学部長	市	岡	優	典
(特命(法務・コンフライアンス・タイハーシティ&インクルーション)担当)	TT	נילו	125<	।ज	医学部長	豊	畄	伸	_
上席副学長 (特命(クローハル・エンケーシメント戦略)担当)	横	井	篤	文	歯学部長	長	塚		仁
(村の(クロークル・ユクリークメンド戦略)担ヨ) 副学長(特命(組織改革)担当)	=	村	ф=	季里	薬学部長	Ξ	好	伸	_
	一伊		英		工学部長	菅		誠	治
副学長(教育担当)	"	野中	央	男	農学部長	木	村	吉	伸
副学長(入試改革担当)	田	中士	±	岳	資源植物科学研究所長	<u>\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\</u>	Щ	隆	志
副学長(国際担当)	鈴浅	木海	孝淳	義	惑星物質研究所長	薛		献	宇
副学長(特命(クローハルヘルス)担当)		, ,		— 	異分野基礎科学研究所長	高	橋	裕一	一郎
大学院教育学研究科長・教育学部長	Ξ	村		里	文明動態学研究所長	松	本	直	子
大学院社会文化科学研究科長	河	原	祐	馬	附属図書館長	甲	賀	研一	一郎
大学院自然科学研究科長	鶴	田	健	_	グローバル・ディスカバリー・プログラム ディレクター	上	田		均

織

職

义

大学院

研究科	区分		専攻	〒和3年5月1日現在	
教育学研究科	修士課程	教育科学専攻			
	14 1 光 40=111.0	国際社会専攻	日本・アジア文化専攻	人間社会文化専攻	
社会文化科学研究科	博士前期課程	法政理論専攻	経済理論·政策専攻	組織経営専攻	
	博士後期課程	社会文化学専攻			
		数理物理科学専攻	分子科学専攻	生物科学専攻	
	博士前期課程	地球科学専攻	機械システム工学専攻	電子情報システム工学専攻	
£ 61:41 24 TH (7)		応用化学専攻			
自然科学研究科	博士課程	地球惑星物質科学専攻			
	14 / 3/40=田10	数理物理科学専攻	地球生命物質科学専攻	学際基礎科学専攻	
	博士後期課程	産業創成工学専攻	応用化学専攻		
	博士前期課程	保健学専攻			
保健学研究科	博士後期課程	保健学専攻			
	博士前期課程	社会基盤環境学専攻	生命環境学専攻	資源循環学専攻	
環境生命科学研究科		生物資源科学専攻	生物生産科学専攻		
	博士後期課程	環境科学専攻	農生命科学専攻		
	修士課程	医歯科学専攻			
	博士前期課程	薬科学専攻			
医歯薬学総合研究科	# ↓ = m ← 1	生体制御科学専攻	病態制御科学専攻	機能再生·再建科学専攻	
	博士課程	社会環境生命科学専攻			
	博士後期課程	薬科学専攻			
ヘルスシステム統合科学研究科	博士前期課程	ヘルスシステム統合科学	9専攻		
・ハノ人ノム和古科子研先科	博士後期課程	ヘルスシステム統合科学専攻			
教育学研究科	専門職学位課程	教職実践専攻			
法務研究科	専門職学位課程	法務専攻			
兵庫教育大学大学院 連合学校教育学研究科	後期3年のみの博士課程	学校教育実践学専攻	先端課題実践開発専攻	教科教育実践学専攻	

	学	科・課程		学科目	
文学部		l	哲学芸術学	行動科学	歴史学
(1学科	5学科目)	人文学科	アジア言語文化論	欧米言語文化論	
			国語教育	社会科教育	数学教育
			理科教育	音楽教育	美術教育
教育学部		学校教育教員養成課程	保健体育	家政教育	技術教育
	17学科目)		英語教育	特別支援教育	幼児教育
			教育学	教育心理学	地域教育
		養護教諭養成課程	養護教育	地域教育	
法学部		计光灯 (合本明十二 二)	公共法	市民法	比較国際法
(1学科	4学科目)	法学科(含夜間主コース)	現代政治学		
経済学部		你许我们(春本田之一一一)	経済理論・統計	比較経済	政策科学
(1学科	4学科目)	経済学科(含夜間主コース)	経営・会計		
		数学科	数学		
		物理学科	物理学		
理学部 (5学科	5学科目)	化学科	化学		
(374	O 于作口/	生物学科	生物学		
		地球科学科	地球科学		
			人体構造機能学	循環器病態学	麻酔・救急医学
		ENAM	脳神経制御学	器官病態学	母性・小児医学
		医学科	腫瘍制御医学	生体情報医学	感覚·運動機能病態学
医学部 (2学科	20学科目)		法医生命倫理学	感染防御医学	社会環境健康医学
(23-19	20541)	保健学科	基礎看護学	成人看護学	母子看護学
			地域看護学	医用放射線科学	放射線診療技術学
			病態検査学	機能解析学	
歯学部		歯学科	口腔基礎常態学	口腔基礎病態学	口腔病態外科学
(1学科	5学科目)	本子行	口腔機能再建学	予防·発育加齢歯科学	
薬学部		薬学科	医療薬学		
(2学科	2学科目)	創薬科学科	医薬品開発科学		
			機械工学	ロボティクス・知能システム	都市環境創成
工学部		工学科	環境マネジメント	情報工学	ネットワーク工学
(1学科	10学科目)		エネルギー・エレクトロニクス	数理データサイエンス	応用化学
			生命工学		
農学部		総合農業科学科	農芸化学	応用植物科学	応用動物科学
(1学科	4学科目)		環境生態学		

グローバル・ディスカバリー・プログラム

2017年開設の英語を共通言語とする学士課程プログラムで、世界各地や国内から集まった多様な背景と経験を持つ学生たちが協力し、共に学びます。本プログラムでは、アカデミック・アドバイザーの丁寧な指導の下に、現在の関心や将来の目標にマッチした、既存の学部・学科の枠にとらわれない幅広い科目履修を通じて専門的知識を身につけ、グローバル課題解決に向けて行動できる人材を育てます。所定の単位を修得した学生は、卒業認定に基づき「学士(学術)」の学位が授与されます。

専攻科・別科

- 特別支援教育特別専攻科
- 養護教諭特別別科

統

玉

ア

学術研究院

研究所名	内容
学術研究院	社会のニーズに応じた多様で柔軟な教育課程の編成及び、教育研究組織に基づいて全学的視点で教員配置を行い、岡山大学の持続可能な教育研究活動の充実・発展に寄与することを目的に、令和3年4月1日に設置。学術研究院に所属する教員は教育学域、社会文化科学学域、自然科学学域、保健学域、環境生命科学学域、医歯薬学域、ヘルスシステム統合科学学域、法務学域のいずれか一つの学域に所属し研究活動を行っている。また、教員は原則として学部及び研究科において、教育業務に従事している。

研究所

研究所名	内 容
資源植物科学研究所	大正3年、大原孫三郎氏によって農業の研究とその応用による農事の改良を目的として設立された財団法人大原奨農会農業研究所を前身としており、昭和27年に岡山大学に移管された。翌年には、農業生物研究所(附置研究所)となり、昭和63年資源生物科学研究所、平成22年4月からは共同利用・共同研究拠点として資源植物科学研究所と改組した。植物ストレス科学共同研究コア、次世代作物共同研究コアと大麦・野生植物資源研究センターのもと、5つの研究ユニット(大気環境ストレス、土壌環境ストレス、環境生物ストレス、遺伝資源、ゲノム育種)を置き、国内外の研究者と連携し、劣悪環境でも生育可能な作物の創出に向けた基礎研究を推進している。
惑星物質研究所	平成28年4月地球物質科学研究センターを改組し設置した。当研究所の歴史は昭和26年に設置された岡山大学温泉研究所より始まり、4度の改組を経て現在に至っている。この間、分析化学及び実験科学的手法に基づき地球・惑星物質科学研究に一貫して取り組み、先進的な研究活動が国際的にも高く評価されている。当研究所には、惑星物質基礎科学部門、惑星システム科学部門、生命・流体物質科学部門の3つの研究部門を設置している。地球や生命を含む惑星物質の起源・進化・ダイナミクスの探求に加え、異分野融合研究や新研究分野の開拓も積極的に推進している。また、自然科学研究科独立専攻である一貫制博士課程プログラム「地球惑星物質科学専攻」や「三朝国際学生インターンプログラム」を通して、次世代人材育成にも取り組んでいる。
異分野基礎科学研究所	物理学と基礎生命科学の研究の発展と、それを融合した新しい研究分野の創出を目指して、平成28年4月に設立した。「量子宇宙」「光合成・構造生物学」「超伝導・機能材料」の3つの研究コアがあり、具体的な研究テーマは、レーザー分光学を使ったニュートリノ物理学の研究、光合成の構造と機能の解明並びに人工的な光合成システムの創製、高温超伝導材料や次世代エレクトロニクスに向けた新機能材料の開発、理論化学的アプローチによるエネルギー貯蔵物質の研究である。また、これらの研究を融合発展させて、エネルギー問題解決につながる新材料やデバイスの創製を進めることも念頭に入れている。
文明動態学研究所	令和3年4月、社会文化科学研究科附属文明動態学研究センターを改組し設置した。考古学、歴史学、人類学、経済学、社会学、哲学等の人文社会科学を核とし、本学および国内外諸機関の地質学、生物学、化学、物理学、神経科学、情報科学等の研究者との緊密な連携のもとに人類文明の来し方・行く末を探求する文理横断型研究拠点である。「文明基礎科学研究コア」「社会動態学研究コア」「地域動態学研究コア」の3つの研究コアを置く。現代社会が抱えるさまざまな問題を人類の文明動態という大きな枠組みの中で見つめなおし、社会組織、技術、信仰、経済、芸術などが、相互に関連しあい、人の生き方をどう変えるか、その複雑な動態を明らかにし、持続可能な社会の構築に貢献する。

岡山大学病院

区分		診療科名	
医科系診療科	総合内科・総合診療科 呼吸器・アレルギー内科 循環器内科 消化管外科 乳腺・内分泌外科 小児外科 形成外科 耳鼻咽喉科 麻酔科蘇生科 小児神経科 小児放射線科 放射線科 緩和支持医療科	消化器内科 腎臓・糖尿病・内分泌内科 脳神経内科 肝・胆・膵外科 泌尿器科 小児心臓血管外科 皮膚科 精神科神経科 小児科 小児血液・腫瘍科 小児心身医療科 救命救急科 臨床遺伝子診療科	血液・腫瘍内科 リウマチ・膠原病内科 感染症内科 呼吸器外科 心臓血管外科 整形外科 眼科 脳神経外科 小児循環器科 小児麻酔科 産科婦人科 病理診断科
歯科系診療科	歯科 「総合歯科部門 「四腔インプラント科部門 歯科放射線科部門 「四腔外科」「顎口腔再建外科部門 矯正歯科	保存歯科部門 補綴歯科部門 歯科麻酔科部門 口腔顎顔面外科部門]	歯周科部門 予防歯科部門

全学センター

センター名	事業内容
評価センター	評価を通して、教育研究活動等の質的な保証と改善を図り、社会への説明責任を果たすことを目的としている。自己評価や第三者評価に関する企画立案や総合調整、評価結果の分析と改善策の提言を行っている。
保健管理センター	学生及び教職員の健康の保持、増進を図り、健全な生活を送ることができるように設けている。当センターでは、定期の健康診断を実施し、病気の予防、早期発見に努め、また、心身に関する健康相談及び指導が、各科の専門医、保健師、臨床心理士により行われている。産業医、保健師、臨床心理士による産業衛生活動も行っている。鹿田地区には、鹿田室を設置している。
環境管理センター	本学における、環境マネジメントの確実な実施と環境保全に関する社会的責任を果たすための専門業務を行う。その活動は法令遵守にとどまらず、「岡山大学環境方針」に基づくより高度なものを目指す。その目的のため、排水管理、有害廃棄物の適正管理及び処分、廃棄物の発生抑制、化学物質等の適正管理、グリーン購入の推進、環境報告書の作成、地球温暖化対策実施基本計画の策定等を実施する。また、関連する教育研究と周知、啓発を行うことにより学内外に広く環境マインドを醸成する。
情報統括センター	教育研究に必要なICT環境の整備と管理運用を統括的に推進することを目的としている。具体的には情報戦略の支援、高度なICT環境の整備、情報セキュリティ・情報倫理遵守の推進、情報教育の企画・運営及び実施、学内のDX推進の支援である。
グローバル 人材育成院	本学の国際化に向けた取組を企画・実施するほか、グローバル人材育成特別コースを運営している。また、各学部及び関係する全学センターとの連携の下、岡山大学短期留学プログラム(EPOK)や海外語学研修等により学生を海外に派遣するとともに、本学に入学予定の外国人留学生の渡日及び入学後の修学に関して各種情報提供や支援を行っている。
地域総合研究センター	大学の社会貢献活動の強化を目的として、平成23年11月に設置した。大学・地域間の各種政策に関するコーディネート及びシンクタンク機能を持ち、組織的な社会貢献・地域連携を推進している。教員・地域の方々と対話を通して、学生に実践力を身につけさせるための教育活動を行っている。
教師教育 開発センター	平成22年4月に設置され、全学教職コア・カリキュラムの研究開発、教職指導(教職支援・相談業務)、 県下の協力校、教育学部附属学校園、教育委員会等、関連諸機関との連携協力事業、理数系教員養成事 業等を実施している。
中性子医療 研究センター	薬学と素粒子物理学という異分野融合による最新のがん放射線治療法である「ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)」の研究・教育に取り組むセンターとして平成29年4月に設置した。本学が開発した画期的なホウ素薬剤と名古屋大学の中性子発生装置技術に加え、国際原子力機関(IAEA)や国内外一線級のBNCT研究者との連携により、岡山発の革新的で全世界に輸出可能ながん治療法の確立と、集学的治療における位置づけを明確にした中性子医療という新規分野の拠点形成を目指している。
自然生命科学 研究支援センター	本学の自然科学研究を推進するため、高性能分析機器・設備の管理運用と提供、遺伝子組換え・動物・放射線実験環境の整備と提供を行う。また、関連する法定業務を行い、本学の研究遂行における法令遵守に務める。この目的達成のため、学内設備の共用化と技術の集約化を推進し、学内にとどまらず学外に提供することにより、共同研究・受託研究を通して研究資源を広く社会に還元する。これらの活動に合わせ、関連する教育研究を自ら実施し、自然科学研究の発展と人材育成に貢献する。
生殖補助医療技術 教育研究センター	生殖補助医療に不可欠な生殖補助医療技術者(胚培養士)を志す学生のキャリア養成教育や現役胚 培養士のリカレント教育の開発・拡充に関する事業を行っている。諸外国の教育研究機関と連携して 世界的生殖研究拠点形成を目指している。
埋蔵文化財調査 研究センター	学内遺跡の保護と調査研究を目的とし、建物の建設に伴う発掘調査等を通じて、縄文時代から近代にいたる遺跡の実態解明に取り組む。発掘調査報告書の刊行や、展示会の開催、及び出土資料を用いた教育活動などを行っている。

玉

統

流

 $\overline{\mathcal{V}}$ ク

附属学校

■ 幼稚園(3年保育)

■ 小学校

■ 中学校

■ 特別支援学校(小学部、中学部、高等部)

附属図書館

附属図書館は、県内最多の蔵書を有する図書館で、中 央図書館、鹿田分館、資源植物科学研究所分館から構成 されており、全体で約202万冊の図書を所蔵している。 図書館のサービスは大学の枠を超え、地域や他の教育機 関等に広く展開している。ホームページを基軸とした電 子図書館サービスは学内出版物や約8万タイトルの電子 ジャーナル、30種のデータベースの提供、岡山大学の学 術研究成果の発信など機能強化が進んでいる。

蔵書数

令和3年5月1日現在

区分	和漢書	洋書	計
中央図書館	1,135,453	465,972	1,601,425
鹿田分館	115,566	105,090	220,656
資源植物科学研究所分館	96,564	92,593	189,157
惑星物質研究所	584	4,552	5,136
合計	1,348,167	668,207	2,016,374

池田家文庫

附属図書館中央図書館では、旧岡山藩主池田家(1632-1871)が襲蔵してきた記録・ 古文書・絵図・和書・漢籍を約10万点所蔵している。池田家文庫は、江戸時代幕藩制 度の研究上、貴重な一次資料として広く知られている。古文書類はマイクロフィルム 化(17分野、2,486リール)され、館内で閲覧利用することができる。絵図類はデジタ ル化がほぼ終了し、インターネットでも一部を公開している。また、毎年岡山シティ ミュージアムと共催で池田家文庫絵図展を開催し、地域の文化力向上に貢献している。



備前国図(慶長年間)

共同利用•共同研究拠点

資源植物科学研究所

植物遺伝資源・ストレス科学研究拠点

平成21年に文部科学省より「植物遺伝資源・ストレス科学研究」の共同利用・共同研究拠点に認定され、平成22年度より共 同研究を公募し、その遂行により我が国の当該研究の拡大と推進を補佐している。所内に保有する最先端共通研究機器の有効 利用のため、大学内外の研究者との共同研究において簡便に利用できる体制を整えており、敷地内に宿泊施設を設置し、共同 研究の推進を支援する環境も充実している。拠点認定以来すでに様々な共同研究の成果がもたらされている。

■ 惑星物質研究所

地球·惑星物質科学研究拠点

平成22年より、それまでの「全国共同利用施設」として実績をもとに、共同利用・共同研究拠点「地球・惑星物質科学研究 拠点」として文部科学大臣から認定されている。国内外の多くの研究者・学生に対し、研究所が計画的に整備してきた、国際 的にも極めてユニークな総合分析実験システムの利用の機会とそれに伴う技術を提供し、化学分析、年代測定、構造解析、高 温高圧再現実験等の手法を駆使した地球惑星物質科学研究及び新分野の開拓に取り組んでいる。また、国内外の研究機関と連 携を強め、「はやぶさ2」、「オシリス・レックス」などの国際的サンプルリターン計画における地球外回収試料の分析や観測デー タの解析に寄与している。

教育関係共同利用拠点

理学部附属臨海実験所

多様な生物・戦略による研究直結型教育のグローバル共同利用拠点

中四国・九州の臨海実験所の中心として、平成23年4月、関連施設では初めて文部科学省により認定を受けた。平成28年4月 からは、生体制御学を主とした高度な実験生物学の研究や実習の機会を国内外に提供する全国的な拠点として、再認定、再々 認定されている。全国臨海臨湖実験所長会議長校として、大学間連携のリード等も高く評価されている。

機構

センター名	事業内容
全学教育・ 学生支援機構	本学の理念・目的に基づく教育目標を達成するため、1)全学の教育システム整備、2)入学者選抜・高大接続、3)教養教育・国際教育その他全学共通教育、4)教職員の能力開発、5)学生の学習・生活支援、6)学生のキャリア支援及び就職・進学支援等を推進するとともに、調査研究、企画、開発、提言及び点検・評価を行っている。 「高等教育開発推進センター」「基幹教育センター」「高大接続・学生支援センター」の3つのセンターにより構成され、学部・研究科等及び他の全学組織と連携しながら、分野横断的に活動している。
研究推進機構	本学の理念・研究目標を達成するため、研究及び産学官連携の推進を企画・立案、調整、実施し、また、研究不正の防止等研究コンプライアンスを図ることによって、本学における広範な領域の学術研究を推進し、重点的に研究拠点の形成を進め、知的資産の形成を促進するとともに、知的財産を組織的に管理・活用・保護し、研究成果の社会還元を促進し、併せて本学の財政基盤の向上に資する役割を担っている。
安全衛生推進機構	本学の安全衛生方針に基づき、本学構成員等の安全と健康の確保を図り、安全衛生に関する本学の社会的責任を果たすため、所要の調査・研究を行い、保健管理センター及び環境管理センター等と連携し、安全衛生に関する本学の施策・方針を企画・立案するとともに、安全衛生活動の実施に関する教育・指導・助言を行っている。

ダイバーシティ推進本部

岡山大学における性別、国籍、年齢、障がい等に関する構成員の多様性を高め、ダイバーシティ文化の醸成に努めることを目的として、平成21年1月に設置した。

男女共同参画室、次世代育成支援室、障がい者雇用推進室、高齢者雇用安定室の4つの室から成り、これらの室を中心に、様々な施策を企画・実施し、長期的視野で組織の持続的発展を図り、全ての職員の仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進を目指している。

SDGs推進本部

本学のSDGs達成の観点を取り入れた大学運営を進めるとともに、地域及び国際社会とのより一体的なパートナーシップ構築のための取り組みを推進することを目的として、平成30年2月に設置した。

学長を本部長とし、業務に関わる事項を審議する「運営会議」と推進本部から諮問された事項を検討し企画・立案するための「推進企画会議」を設けて、本学のSDGs達成に貢献する活動を推進している。

令和元年7月には本学のSDGs活動の一層の活性化及び充実・発展を図ることを目的として岡山大学SDGsアンバサダー任命制度を設け、令和2年7月には若手の教員・職員にSDGsアンバサダー学生を加えたメンバーで構成されるSDGs未来懇談会(ミライコン)を設置し、学生を含めた構成員全体で取り組むSDGsの推進を目指している。

学都おかやま共創本部

本学が担っている地域のシンクタンク機能を強化することを目的として、平成30年度に国際学都おかやま創生本部を設置し、令和3年4月に学都おかやま共創本部へ改称した。

地域連携のプラットフォーム機能に、産官学連携におけるシーズとニーズのマッチング機能を有機的に結合することで、地域の特色・ニーズを踏まえた、分野融合による新たなイノベーション創出を地域とともに目指していく。

DX (デジタルトランスフォーメーション) 推進本部

本学の、教育・研究・共創の諸活動において、デジタルの活用を推進し業務を変革することにより、本学の機能強化、教育研究活動の高度化及び業務運営の効率化を図ることを目的として、令和3年1月8日に設置した。また、令和3年4月1日からは副本部長にDX推進担当理事(特命)を置き、長期的視点で全学的にDX推進を継続する体制を構築した。

岡山大学DX推進本部は、計画立案・戦略策定・学内における総合調整を行うための推進室や、個別の取り組みを推進するためのプロジェクトチームを置くことができる体制としており、DXで組織に横串を通すことにより全学的な視野を持って「学生にとって便利で効果的な学びの提供」及び「教職員の効率的・効果的な業務の実現」を目指している。

オープンイノベーション機構

企業の事業戦略に関わる競争領域の大型共同研究を集中的にマネジメントする中核組織として、令和元年6月に設置した。 大型共同研究の共創・推進、本学における財政基盤の強化、研究力の強化、人材育成、大学改革等の加速に資するとともに、 社会に対して新たな価値を提供することを目的とし、「組織」対「組織」の大型産学官連携に関する業務を行う。

員

玉

統

ク

グローバル最先端異分野融合研究機構

本学の研究力強化の取組の中核組織として設置され、本学が強みを持つ研究分野の研究を重点的に支援するとともに、将 来的に本学の強みとなる可能性のある研究分野を新たに開拓・育成することにより、本学に当該分野における我が国の中核 的な研究拠点を形成することを目的としている。ポテンシャルの高い領域の研究活動を重点的に支援していく仕組みとして、 「重点研究分野」において大学横断的に「次世代研究育成グループ」と「研究拠点形成グループ」を選定して支援を行ってい る。また、将来の革新基幹技術となりうる領域を創出することを目的として、次の2つの研究拠点を置いている。

異分野融合先端研究コア(RCIS)

平成20~24年度に文部科学省「テニュアトラック普及・定着事業(若手研究者の自立的研究環境整備促進)」の支 援を受け、自立した優秀な若手研究者を育成する場として設置し、のべ13名のテニュアトラック教員を育成してきた。 現在は RCIS に配属されているテニュア准教授4名(うち2名は兼任)が異分野融合による新領域研究の創成・発展に 向け、自立的環境下で活発な研究・教育活動を行っている。

サイバーフィジカル情報応用研究コア(Cypher)

「Society5.0」の実現に向け、AI・データサイエンスを専門とする教員と同分野の技術を応用する教員を集約した 組織として令和2年度に設置した。

専任教員と各学域からの兼務教員で構成し、全学で散在的に取り組まれているAI・データサイエンス分野の応用研 究に対して的確な助言をすることで、AI・データサイエンス分野の応用研究・社会実装を推進している。

海外拠点

	事務所名	事業内容
	岡山大学 ベトナム事務所	当事務所は本学初の海外事務所であり、学術・教育交流の推進、本学の情報発信並びに国際的に活躍できる本学教職員の養成を行う目的で設置した。平成19年4月から現地スタッフ1人を常駐させ、広くベトナム全域を対象に本学の広報活動や優秀な留学生の確保に向けた諸活動を行っている。
	岡山大学 中国事務所 (長春·瀋陽·上海)	平成19年8月に長春事務所(東北師範大学内)及び瀋陽事務所(中国医科大学内)を、平成27年10月に上海事務所(上海理工大学内)を設置した。中国の重点大学との共同学位プログラムの運営、研究者との情報交換といった学生・学術交流を推進するほか、本学への留学を希望する中国人学生への助言・情報提供、本学のPR活動、国際同窓会中国支部の活動支援等を行っている。
海外事務	岡山大学 ロンドン事務所	平成27年4月に設置した当事務所は、本学の広報活動や英国の大学・研究機関等との連携強化活動を通じて、学生及び教職員間のグローバル化推進を目指す。本学の英国における窓口としての役割を担い、本学の知名度向上に向けて積極的な情報発信を行っている。
所	岡山大学 日本留学情報 センター(OJEIC、 ミャンマー) ヤンゴン事務所・ マンダレー事務所	平成26年10月に文部科学省委託事業「留学コーディネーター配置事業(ミャンマー)」(平成30年4月より日本留学海外拠点連携推進事業(東南アジア))に採択され、ミャンマーからの留学生受け入れを促進するため、平成27年2月にヤンゴン市内に「岡山大学日本留学情報センター(OJE1C)」を設置した(令和元年5月、国際交流基金ヤンゴン日本文化センター内に移転)。同年3月より、様々な機関の垣根を越え、オールジャバンで日本留学を促進するための司令塔となる日本人留学コーディネーターと現地スタッフとで運営を行っている。また、平成30年8月にはミャンマー第2の都市マンダレーにも「OJE1Cマンダレー事務所」を開設した。さらに、令和2年1月には、ASEANの交通の要所であるタイ・バンコクにサテライト拠点を設置した(国立六大学バンコク事務所と共用)。タイでの日本留学促進のみならず、重点国であるカンボジア、ラオスをはじめASEAN全域における各種セミナーの実施をサポートするため、日本人留学コーディネーターが、現地スタッフとともに活動を展開している。
国立	国立六大学 長春事務所	平成26年11月に岡山大学長春事務所を国立六大学(千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学、 熊本大学)の事務所として共用を開始した。国立六大学の情報発信や共同で開催する事業等に活用している。
国立六大学共同事	国立六大学 バンコク事務所	平成29年8月に国立六大学共同事務所として、タイ・バンコクに開所した。国立六大学とタイの大学との教育・研究交流を基盤としたASEAN地域での連携促進等のため活用している。また、令和2年1月より日本留学海外拠点連携推進事業ASEAN拠点バンコク事務所とオフィスを共用している。(岡山大学日本留学情報センターを参照。)
·務 所	国立六大学 スラバヤ事務所	令和2年4月に国立六大学共同事務所として、インドネシア・スラバヤに開所した。国立六大学とインドネシアの大学との教育・研究交流を基盤としたASEAN地域での連携促進等のため活用している。
海外の研究拠点	インド感染症共 同研究センター	平成19年にインド国立コレラおよび腸管感染症研究所 (NICED) 内に設置した。 研究センターには、岡山大学から1名の研究者 (准教授) を常駐者として派遣し、NICEDの研究者と協同して、腸 管感染症を予防するワクチンの開発研究、腸管感染症原因菌の疫学研究などを活発に展開している。
拠点・事務室等	環境生命科学研 究科海外事務室	当事務室は、2017年度から実施している文部科学省「国際異分野共同による教育研究を核とする国際社会人共同博士号取得拠点の形成一日本版大学院高等教育システムの海外展開一」の事業の中で、東南アジアでの事業展開拠点として2018年3月にベトナム・ホーチミン市内に設置した。日本人コーディネーター1名を配置し、留学希望者の発掘と情報提供、留学相談等を行い、優秀な留学生の確保に向けた諸活動を行っている。

役職員数

区分	学長	理事	 理事(非常勤) 	監事	監事(非常勤)	計
役 員	1	6	1	1	1	10

区分	教 授	 准教授	講師	助教	助手	教諭	計		務・ 職員		合計	
事務局	[1]						[1]	223 [7	'9] (1)	223	[80]	(1)
学術研究院教育学域	57	26 [1]	9	3 [4]			95 [5]			95	[5]	
学術研究院 社会文化科学学域	47	46 [1]	14	2 [5]	1		110 [6]			110	[6]	
学術研究院自然科学学域	68 [1]	60	7	40 [10]	1		176 [11]			176	[11]	
学術研究院保健学域	13 [1]	10		15	1		39 [1]			39	[1]	
学術研究院 環境生命科学学域	54	55	1	9 [3]	1		120 [3]			120	[3]	
学術研究院医歯薬学域	73 [9]	57 [12]	12 [10]	103 [27]	1		246 [58]			246	[58]	
学術研究院 ヘルスシステム統合科学学域	19	9 [1]	2 [1]	10 [4]			40 [6]			40	[6]	
学術研究院法務学域	13	3		1			17			17		
大学院教育学研究科								17 [3]	17	[3]	
大学院社会文化科学研究科								23 [3]	23	[3]	
附属国際連携推進センター								[1]		[1]	
大学院自然科学研究科								51 [6]	51	[6]	
大学院保健学研究科												
大学院環境生命科学研究科								[:	2]		[2]	
附属低炭素・ 廃棄物循環研究センター												
大学院医歯薬学総合研究科								51 [9	00]	51	[90]	
附属薬用植物園												
附属医療教育センター								1		1		
大学院ヘルスシステム 統合科学研究科								[3	3]		[3]	
大学院法務研究科												
附属弁護士研修センター												
文学部												
教育学部												
附属学校						98 [3]	98 [3]	7	(2)	105	[3]	(2)
法学部												
経済学部												
理学部								5		5		
附属臨海実験所								1		1		
附属界面科学研究施設												

統
計
国
際
交
流
社会連携、関連組織社会連携、関連組織
ア
ク
セ
ス
キャンパスマップ

区分	教	授	准律	教授	講	師	助	教	助手	】 】 教 諭		計		事務・ 技術職!			合計	
医学部													18	[2]	(1)	18	[2]	(1)
歯学部													1			1		
薬学部													2			2		
工学部													21		(1)	21		(1)
農学部																		
附属山陽圏フィールド 科学センター													6	[1]		6	[1]	
資源植物科学研究所	7		12				4	[4]			23	[4]	15			38	[4]	
附属大麦·野生植物資源 研究センター	3		4				2				9		2			11		
惑星物質研究所	6		4				4	[2]	[1]		14	[3]	5	[6]	(1)	19	[9]	(1)
異分野基礎科学研究所	11	[5]	12	[5]		[5]	3	[13]			26	[28]		[5]		26	[33]	
文明動態学研究所	3				1						4			[1]		4	[1]	
岡山大学病院	19	[1]	18	[2]	50	[5]	103	[70]			190	[78]	781	[973]	(14)	971	[1,051]	(14)
評価センター																		
保健管理センター	2		2				1	[1]			5	[1]	4	[2]		9	[3]	
環境管理センター			1				1				2					2		
情報統括センター	1		2								3		8			11		
グローバル人材育成院	7		11	[1]		[1]					18	[2]		[1]		18	[3]	
地域総合研究センター	1		1								2					2		
教師教育開発センター	2		1		1						4					4		
中性子医療研究センター	1	[2]	2	[2]							3	[4]		[3]		3	[7]	
自然生命科学 研究支援センター	3	[1]	1				3	[1]			7	[2]	6	[14]	(1)	13	[16]	(1)
生殖補助医療技術 教育研究センター			1				1				2					2		
埋蔵文化財調査研究センター			1				3				4					4		
附属図書館													22			22		
全学教育·学生支援機構	14	[1]	23		1	[4]	1	[1]			39	[6]		[2]		39	[8]	
研究推進機構	2	[1]		[1]							2	[2]		[11]		2	[13]	
安全衛生推進機構							1				1					1		
異分野融合先端研究コア			2	[1]				[2]			2	[3]				2	[3]	
サイバーフィジカル 情報応用研究コア	1	[1]									1	[1]				1	[1]	
合計	427	[24]	364	[27]	98	[26]	310	[147]	5 [1]	98 [3]	1,302	[228]	1,270	[1,208]	(21)	2,572	[1,436]	(21)

注1:[]は契約職員(フルタイム)、()は再雇用職員(フルタイム)でともに外数。 注2:岡山大学東京オフィス、法人監査室は事務局に含む。

学生数

大学院

								令和3年	5月1日現在
区分		1 24 4 5				現	員		
研究科	専 攻	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	計
教育学研究科	教育科学専攻	37	74	43	50				93
(修士課程)	教科教育学専攻				1				1
	小計	37	74	43	51				94
社会文化科学研究科	国際社会専攻	14	28	10	17				27
(博士前期課程)	日本・アジア文化専攻	12	24	17	13				30
	人間社会文化専攻	30	60	26	30				56
	法政理論専攻	15	30	3	5				8
	経済理論·政策専攻	6	12	11	12				23
	組織経営専攻	11	22	15	19				34
	社会文化基礎学専攻				3				3
	比較社会文化学専攻				3				3
	小計	88	176	82	102				184
自然科学研究科	数理物理科学専攻	38	76	36	30				66
(博士前期課程)	分子科学専攻	24	48	19	17				36
	生物科学専攻	22	44	24	25				49
	地球科学専攻	16	32	14	9				23
	機械システム工学専攻	98	196	120	126				246
	電子情報システム工学専攻	90	180	121	91				212
	応用化学専攻	50	100	53	51				104
	小計	338	676	387	349				736
保健学研究科	保健学専攻	26	52	31	28				59
(博士前期課程)	小計	26	52	31	28				59
環境生命科学研究科	社会基盤環境学専攻	30	60	43	30				73
(博士前期課程)	生命環境学専攻	23	46	11	25				36
	資源循環学専攻	43	86	39	40				79
	生物資源科学専攻	25	50	32	30				62
	生物生産科学専攻	38	76	33	33				66
	小計	159	318	158	158				316
医歯薬学総合研究科	医歯科学専攻	20	40	15	25				40
(修士課程)	小計	20	40	15	25				40
医歯薬学総合研究科	薬科学専攻	37	74	25	35				60
(博士前期課程) 	小計	37	74	25	35				60
	ヘルスシステム統合科学専攻	80	160	83	89				172
(博士前期課程) ————————————————————————————————————	小計	80	160	83	89				172
合計(修士語	課程・博士前期課程)	785	1,570	824	837				1,661

义

統

研究科	専 攻	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	計
社会文化科学研究科	社会文化学専攻	12	36	17	11	33			61
(博士後期課程)	小計	12	36	17	11	33			61
自然科学研究科	地球惑星物質科学専攻	4	20	4	1	2	3	4	14
(博士課程)	小計	4	20	4	1	2	3	4	14
自然科学研究科	数理物理科学専攻	6	18	2	4	6			12
(博士後期課程)	地球生命物質科学専攻	11	33	5	4	10			19
	学際基礎科学専攻	10	30	9	12	9			30
	産業創成工学専攻	18	54	16	15	27			58
	応用化学専攻	5	15	8	3	6			17
	化学生命工学専攻					1			1
	生命医用工学専攻					4			4
	小計	50	150	40	38	63			141
保健学研究科	保健学専攻	10	30	13	10	39			62
(博士後期課程)	小計	10	30	13	10	39			62
環境生命科学研究科	環境科学専攻	22	66	14	19	23			56
(博士後期課程)	農生命科学専攻	20	60	20	10	28			58
	小計	42	126	34	29	51			114
医歯薬学総合研究科	生体制御科学専攻	25	100	29	29	29	75		162
(博士課程)	病態制御科学専攻	62	248	62	77	69	167		375
	機能再生·再建科学専攻	28	112	28	34	21	55		138
	社会環境生命科学専攻	13	52	15	14	13	25		67
	小計	128	512	134	154	132	322		742
医歯薬学総合研究科	薬科学専攻	9	27	5	5	6			16
(博士後期課程)	小計	9	27	5	5	6			16
	ヘルスシステム統合科学専攻	16	48	10	16	14			40
(博士後期課程)	小計	16	48	10	16	14			40
合計(博士課	程・博士後期課程)	271	949	257	264	340	325	4	1,190
教育学研究科 (専門職学位課程)	教職実践専攻	45	90	30	42				72
法務研究科 (専門職学位課程)	法務専攻	24	72	14	14	19			47
合計(専	門職学位課程)	69	162	44	56	19			119
総	計	1,125	2,681	1,125	1,157	359	325	4	2,970
兵庫教育大学大学院	学校教育実践学専攻	12	36	2		6			8
連合学校教育学研究 科(後期3年のみの	先端課題実践開発専攻	6	18		1	3			4
博士課程)	教科教育実践学専攻	18	54	6	4	11			21
	小計	36	108	8	5	20			33

区分

[※]兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科欄の数は構成大学である岡山大学(指導教員)に属する学生の学生数である。

							TB		令和3年5	カーロ現付
学 部	学科・課程	入学定員	収容定員	1/=>=	0/5/5		現 員		0/=>=	=1
 文学部	人文学科	175	700	1年次 181	2年次 188	3年次 178	4年次 204	5年次	6年次	計 751
义子部	小計	175	700	181	188	178	204			751
教育学部	学校教育教員養成課程	250	1,000	241	250	253	272			1,016
秋月子 即	養護教諭養成課程	30	120	30	30	30	30			120
	小計	280	1,120	271	280	283	302			1,136
	法学科(昼間コース)	205	820	212	206	215	237			870
/五子叩	法学科(夜間主コース)	203	80	212	200	213	32			95
	小計	225	900	233	226	237	269			965
 経済学部	経済学科(昼間コース)	205	820	215	204	209	252			880
性/月子叩	経済学科(夜間主コース)	40	160	40	42	45	59			186
	小計	245	980	255	246	254	311			1,066
	数学科	20	80	233	20	28	26			97
注于 即	物理学科	35	140	37	37	59	37			170
	化学科	30	120	31	31	45	42			149
	生物学科	30	120	30	30	48	31			139
	地球科学科	25	100	26	28	31	25			11(
		140	560							
E-W-50	小計	⟨30⟩	⟨50⟩	147	146	211	161			665
医学部	医学科	112 [5]	678 [25]	111	119	117	121	127	124	719
	保健学科	160	640 〈20〉	153	160	157	162			632
	小清十	272 [5]	1,318 [25] (20)	264	279	274	283	127	124	1,351
歯学部	歯学科	48 [5]	288 [25]	48	55	50	52	57	52	314
	小計	48 [5]	288 [25]	48	55	50	52	57	52	314
薬学部	薬学科	40	240	42	47	40	36	40	41	246
	創薬科学科	40	160	43	47	38	44			172
	小計	80	400	85	94	78	80	40	41	418
工学部	機械システム系学科		480		182	191	170			543
	電気通信系学科		300		109	125	116			350
	情報系学科		180		72	68	59			199
	化学生命系学科		420		148	166	144			458
	工学科	610	610	627						627
	小計	610 〈30〉	1,990 (60)	627	511	550	489			2,177
環境理工学部	環境数理学科	(00)	60		21	25	24			70
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	環境デザイン工学科		150		53	58	52			163
	環境管理工学科		120		43	45	43			131
	環境物質工学科		120		41	49	46			136
			450		158	177	165			500
典 24.47	小計	100		107						
農学部	総合農業科学科	120	480	127	127	126	131			511
フ ぃイヽ. <i>ド</i>	小計	120	480	127	127	126	131			511
マッチングプロ			_			2	2			2
An in -	小計		-	F7	00	2	2			006
クローハル・デ	ィスカバリー・プログラム	_	_	57	62	55	52			226
	小計	0.405	0.100	57	62	55	52			226
	合計	2,195 [10](60)	9,186 [50] (130)	2,295	2,372	2,475	2,501	224	217	10,084

^{※ []} は第2年次編入学定員で外数。<>は第3年次編入学定員で外数。

育 研究組 織

計

ア

専攻科・別科

令和3年5月1日現在

□ □ □		пв	志願	者数	入学	者数
<u> </u>	上 見	以 貝	男	女	男	女
特別支援教育特別専攻科	15	9	3	6	3	6
養護教諭特別別科	40	20	1	44		20

児童・生徒及び園児数

令和3年5月1日現在

		学級数	総定員			児童・	・生徒及び	園児数		
区		子叔奴	総止貝	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
小学校		18	630	105	103	105	100	104	102	619
中学校		15	540	180	175	180				535
	小学部	3	18		6	(3	(3	18
特別支援学校	中学部	3	18	6	6	6				18
	高等部	3	24	8	8	8				24
				(3歳児)	(4歳児)	(5歳児)				
幼稚園	3年保育	6	144	48	48	48				144

入学者数

十半空

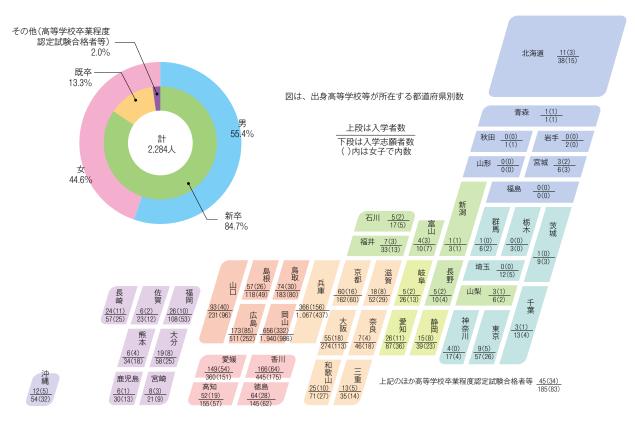
区分	1 兴宁昌	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	志願者	当数	入学者	
	入学定員	入学時期	男	女	男	女
修士課程及び博士前期課	呈					
教育学研究科	37	2021年4月	19	33	14	29
教育子WI九代	31	2020年10月				
社会文化科学研究科	88	2021年4月	53	92	31	35
<u> </u>	00	2020年10月	11	19	7	8
自然科学研究科	338	2021年4月	388	66	325	54
		2020年10月	3	1	2	1
保健学研究科	26	2021年4月	13	24	12	19
理技术会到党刑办到	159	2021年4月	122	63	100	55
環境生命科学研究科	159	2020年10月	4	1	3	
= 15 ± 1/2 (0) A = 17 ± 2/3		2021年4月	35	15	27	13
医歯薬学総合研究科	57	2020年10月				
		2021年4月	74	23	67	15
ヘルスシステム統合科学研究科	80	2020年10月	, ,	20	01	10
		2020 107	722	337	588	229
小計	785		1,05		817	
■博士課程及び博士後期課	무		1,00	50	011	
		2021年4月	9	10	6	8
社会文化科学研究科	12	2020年10月	3	2	2	1
/ 650-100-7-10-1		2021年4月	30	5	26	5
自然科学研究科	54	2020年10月	8	3	8	3
ID bt 24 Turboty	40	2021年4月	2	7	2	7
保健学研究科	10	2020年10月		3		3
四块什么的光开办的	40	2021年4月	12	6	12	6
環境生命科学研究科	42	2020年10月	8	10	7	9
医华莱兰纶入加克利	137	2021年4月	85	25	84	25
医歯薬学総合研究科	137	2020年10月	13	18	10	16
↑ II フミフェ / 妹人利益研究利	10	2021年4月	6	4	4	3
ヘルスシステム統合科学研究科	16	2020年10月	3	1	3	
,I, = I	071		179	94	164	86
小計	271		273	3	250	
■専門職学位課程						
教育学研究科	45	2021年4月	21	12	17	11
法務研究科	24	2021年4月	43	20	8	6
d>≡L	69		64	32	25	17
小計	09		96		42	
合計	1,125		1,428	3	1,109	
兵庫教育大学大学院 連合学校教育学研究科	36	2021年4月	4	9	3	5

※兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科欄の数は構成大学である岡山大学(指導教員)に属する学生の入学者数である。

学部

	4	
会≴	пつ?	∓₩

								= >>/ -=/ -	サイルの平皮
	区 分	入学定員	志願	者数	入学	者数	岡山県内	人学者の (百:	出身地別 分比)
			男	女	男	女	出身者	県内	県外
文学部		175	199	372	63	118	43	23.8	76.2
教育学部		280	220	492	91	179	121	44.8	55.2
法学部	法学科(昼間コース)	205	361	304	101	109	59	28.1	71.9
法子 部	法学科(夜間主コース)	20	62	47	10	11	17	81.0	19.0
経済学部	経済学科(昼間コース)	205	501	258	137	76	50	23.5	76.5
在冲子的	経済学科(夜間主コース)	40	52	45	15	25	30	75.0	25.0
理学部		140	282	112	106	39	20	13.8	86.2
医学部	医学科	112	266	158	68	40	28	25.9	74.1
达子 部	保健学科	160	102	432	24	130	40	26.0	74.0
歯学部		48	95	81	26	22	11	22.9	77.1
本	薬学科	40	54	134	11	31	12	28.6	71.4
薬学部	創薬科学科	40	55	55	23	20	9	20.9	79.1
工学部		610	1233	285	524	103	175	27.9	72.1
農学部		120	187	180	56	70	27	21.4	78.6
グローバル・ディスカ	(令和2年10月入学)		33	52	6	20	0	0.0	100.0
バリー・プログラム	(令和3年4月入学)		15	37	5	25	14	46.7	53.3
∆≡↓	2 105	3,717	3,044	1,266	1,018	656	28.7	71.3	
	合計	2,195	6,7	761	2,2	284	000	20.1	11.0



革 組

义 役

職

卒業者進路 (修了者就職状況)

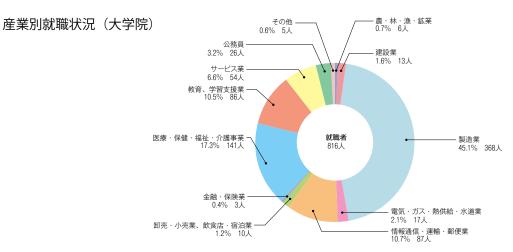
大学院

令和2年度修了者(令和3年5月1日現在)

																	一一一	2年及	修了者	(T)	но 4- 5	חומ	児仕/
	修了者数	進学者数	就職者数										業別家	t職者									
	煮	者	者	農	建設業	製造業	水電道気	情報	宿卸泊売	金融	不動	介医護療			教育、	学習支				サー	国家	地方	その他
区分	女义	女义	女义	農·林·漁·鉱業	業	業	水道業電気・ガス・熱供給・	情報通信·運輸·郵便業	宿泊業 御売·小売業、飲食店·	金融·保険業	不動産·物品賃貸業	介護事業 医療·保健·福祉·	小学校	中学校	高等学校	中等教育学校	幼稚園	特別支援学校	その他教職員	サービス業	国家公務	地方公務	他
■修士課程・博	士前	期課																					
教育学研究科	40 (24)	8 (5)	20 (10)		(1)	1			(2)				5 (2)	1 (1)	1			1 (1)	4 (1)	(1)		2 (1)	
社会文化科学研究科	(33)	3	(17)	(1)		(1)		(1)	(2)	2 (1)		(5)	1		2 (1)				(2)	2	2	(2)	(1)
自然科学研究科	(35)	10 (1)	326 (30)		(1)	233 (21)	15	56 (5)	1			24		1	3 (1)				1	8	2	(2)	
保健学研究科	28 (19) 117	(2) 12	24 (16) 100	5	4	44	2	14	2	1		(16)			1					18	1	6	
環境生命科学研究科	(31)	(4)	(26) 40	(2)	7	(9)		(3)				(2)			(1)				2	(8)	'	(1)	
医歯薬学総合研究科	(22)	(3)	(18)		1	(14)		11	1			(1)							(2)	(1)			
ヘルスシステム統合科学研究科・ハミナ	(11) 718	(1) 49	(8)	6	7	(4) 353	17	85	(1)	3	0	(1)	6	2	7	0	0	1	9	(2)	5	19	1
■博士課程・博	(175) 计後	(16) 期課	(125) 程	(3)	(2)	(49)	(0)	(9)	(5)	(1)	(0)	(25)	(2)	(1)	(3)	(0)	(0)	(1)	(5)	(12)	(0)	(6)	(1)
社会文化科学研究科	5 (5)		1 (1)																1 (1)				
自然科学研究科	(11)		25 (6)			9 (1)		2							2				8 (4)	(1)			
自然科学研究科 5年一貫制	1																						
保健学研究科	12 (6)		12 (6)		1							4 (1)							(5)	1			
環境生命科学研究科	38 (12)		(6)		5	2						98							15 (6) 2	5	0		4
医歯薬学総合研究科	137 (36)	- 1	113 (27)									(24)								(1)	(1)		(1)
ヘルスシステム統合研究科	232	1	179	0	6	15	0	2	0	0	0	102	0	0	2	0	0	0	32	14	2	0	4
小計 ■専門職学位調	(70)	(0)	(46)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(25)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(16)	(2)	(1)	(0)	(1)
教育学研究科	28 (13)		27 (12)										7 (4)	11 (4)	7 (3)		1 (1)	1					
法務研究科	14 (6)																						
小計	42 (19)	(0)	27 (12)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	7 (4)	11 (4)	7 (3)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
合計	992 (264)	50 (16)	816 (183)	6 (3)	13 (2)	368 (50)	17 (0)	87 (9)	10 (5)	3 (1)	(0)	141 (50)	13 (6)	13 (5)	16 (6)	(0)	(1)	(1)	41 (21)	54 (14)	7 (1)	19 (6)	5 (2)
■後期3年のみの 兵庫教育大学大学院 連合学校教育学研究科	の博士 2 (1)	課档	2 (1)																2 (1)				

^{※()}内は、女子を内数で示す。

[※]兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科欄の数は構成大学である岡山大学(指導教員)に属する学生の修了者数である。



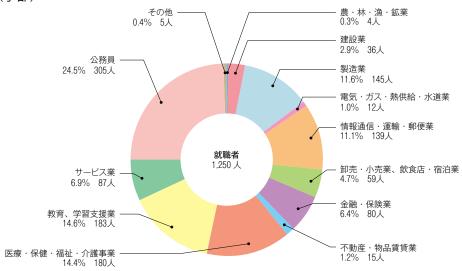
[※]修了者数には単位修得満期退学者を含む。

令和2年度卒業者(令和3年5月1日現在)

	卒業	進	臨	就兴									産	業別寫	尤職 者	数								
	卒業者数	進学者数	臨床研修医	就職者数	農	建設業	製造業	電気	情報	卸売	金融	不動	医療			教育、	学習3	支援業			サー	国家	地方	その他
区分	***		医	**	農·林·漁·鉱業	^双 業	業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信·運輸·郵便業	卸売·小売業、飲食店·宿泊業	金融·保険業	不動産·物品賃貸業	医療·保健·福祉·介護事業	小学校	中学校	高等学校	中等教育学校	幼稚園	特別支援学校	その他教職員	サービス業	国家公務	地方公務	他
文学部	177 (123)	17 (10)		141 (101)	1	(3)	14 (9)	(1)	26 (21)	10 (6)	11 (10)	3 (2)	(3)			(2)				9 (9)	15 (10)	14 (10)	24 (15)	
教育学部	288 (184)	34 (15)		235 (156)		(2)	5 (3)	(1)	6 (4)	8 (4)	12 (9)	(1)	15 (15)	101 (67)	25 (16)	9 (3)		5 (5)	6 (5)	(6)	10 (5)	5 (5)	16	
法学部 (昼間コース)	213 (112)	18 (9)		171 (97)		4 (2)	9 (2)	(1)	18 (13)	4	16 (11)	(17	3 (2)	(01)	(10)	(0)		(0)	(0)	4 (2)	11 (8)	39 (25)	63 (32)	
法学部(夜間主コース)	15 (11)	3 (3)		6 (4)		(2)	(L)		1 (1)	2 (1)	(11)	(1)	(2)							(L)	1 (1)	1	(UL)	
経済学部	207	6		180		2	25	2	18	15	28	3	1							3	15	27	41	
(昼間コース) 経済学部	(75)	(1)		(68)		(2)	(9)	(2)	(9)	(4)	(15)	(1)	(1)							(1)	(6)	(9)	(9)	
(夜間主コース) 理学部	(15) 155	100		(13) 48		3	(1)	2	(3)	(4)	(1)	(1)	(1)		1	6				1	(1)	5	6	(1)
	(48)	(28)	108	(18)			(2)	(1)	(6)	(1)						(2)					(3)	(1)	(2)	
医学部医学科	(26) 158	24	(26)	124					1	1	1		120								1			
医学部保健学科	(127)	(11)	47	(107)					(1)	'	(1)		(104)								(1)			
歯学部	54 (25)		47 (20)																					
薬学部薬学科	44 (29)			41 (29)			8 (5)						31 (23)								1		(1)	
薬学部創薬科学科	35 (15)	25 (8)		8 (6)			(2)		(2)														(2)	1
工学部	497 (82)	357 (41)		127 (39)	(1)	6 (1)	52 (15)	3	30 (8)	2	4 (2)		2								8 (1)	8 (4)	8 (5)	(2)
環境理工学部	144 (30)	80		60 (19)		14 (5)	5 (1)		12	2 (1)		2			(1)						6 (2)	5 (3)	13 (4)	
農学部	123 (78)	54 (37)		65 (39)	2	(1)	15 (11)		7 (3)	(2)		(1)	(2)		, ,						9 (6)	6 (2)	18 (11)	
マッチング プログラムコース	19 (13)	4 (2)		13 (9)		(1)	(3)		(2)	(1)	3 (1)	,	ν=/									_/	(1)	
合計	2,279 (993)	724 (174)	155 (46)		4 (1)	36 (15)	145	12 (5)	139 (75)	59 (24)	80 (50)	15 (7)	180 (151)	101 (67)	27 (17)	19 (7)	0	5 (5)	6 (5)	25 (18)	87 (44)	112 (59)	193 (89)	5 (3)
v () that the	7 ± ±			(100)	(1)	(10)	(00)	(0)	(10)	(24)	(00)	(1)	(101)	(01)	(11)	(1)		(0)	(0)	(10)	(44)	(00)	(00)	(0)

^{※()}内は、女子を内数で示す。

産業別就職状況 (学部)



統

際

専攻科・別科

令和3年5月1日現在

∇⇔	修了者数	進学者数		就職状況		その供
	修「有数 	连子 <u>有</u> 奴	民間企業	教員	公務員	ての他
特別支援教育特別専攻科	12			12		
養護教諭特別別科	19		4	8	1	6

奨学生数

大学院

令和3年5月1日現在

					7年3年3万1日現在		
	区分	日本学生	支援機構	地方公共団体・			
		第一種貸与	第二種貸与	その他	計		
■修士課程・博士前期課程							
教育学研究科		5	1		6		
社会文化科学研究科		7	3		10		
自然科学研究科		187	8	9	204		
保健学研究科		4	2		6		
環境生命科学研究科		84	6	5	95		
医歯薬学総合研究科		17	2	1	20		
ヘルスシステム統合科学研究科		46	2		48		
■博士課程・博士後期課程							
社会文化科学研究科		1			1		
自然科学研究科		4	1		5		
保健学研究科					0		
環境生命科学研究科		5		1	6		
医歯薬学総合研究科		9		2	11		
ヘルスシステム統合科学研究科		1			1		
■専門職学位課程							
教育学研究科		6		2	8		
法務研究科		8	3	8	19		
合計		384	28	28	440		

[※]新入生を除く

学部

令和3年5月1日現在

_						
	区分		日本学生支援機構		 地方公共団体・	
学部		第一種貸与	第二種貸与	給 付	その他	計
文学部		130	95	56	4	285
教育学部		200	150	99	12	461
法学部	法学科(昼間コース)	126	109	73	10	318
法子司)	法学科(夜間主コース)	12	11	18		41
経済学部	経済学科(昼間コース)	138	100	68	9	315
在海子司	経済学科(夜間主コース)	47	16	31	2	96
理学部		105	91	47	7	250
压兴 如	医学科	57	69	23	3	152
医学部	保健学科	142	83	49	10	284
歯学部		26	27	12	2	67
本 24.47	薬学科	43	29	21	6	99
薬学部	創薬科学科	29	24	17	1	71
工学部		338	229	164	16	747
環境理工	学部	77	66	38	4	185
農学部		68	62	38	3	171
マッチングプログラムコース						0
グローバル	ディスカバリー・プログラム	17	11	19	3	50
	合計	1,555	1,172	773	92	3,592

※新入生を除く

学位授与者数

令和3年3月25日現在

ere Wes			博	±					
		種類			修士	課程修了	論文提出	専門職学位	旧制博士
文	化		科	学	47	17	2		
公	共	政	策	学	41				
学				学 学 術	184	683	88		
文				学	1,337	101	9		
教		育		学 学	2,399				
法				学	478	21	6		
経		済営		学	404	39	2		
経		営		学	168	2			
理				学	3,430	388	68		
医				学学学学学学学学		2,956	3,828		2,461
医		科		学	334				
公	衆	衛 護	生	学	23				
看		護		学	206	20	1		
保		健		学	264	79	6		
歯				学		690	93		
歯		科		学 学 学	34				
薬				学	1,566	275	139		
薬		科		学	334	19	13		
I				学 学	9,549	685	161		
環	境	理	エ	学	484	13	2		
環		境		学	1,177	117	6		
農				学	2,728	328	110		
文公学文教法経経理医医公看保歯歯薬薬工環環農統教法	合		科	学 学 学	153				
教	職		修	士				275	
法	務		博	士				404	
		合計			25,340	6,433	4,534	679	2,461

※学士を除く。

岡山大学病院病床数及び患者数

令和2年度

区分	病床数	1日平均		
	MMXX	入院患者数	外来患者数	
医 科	834	548	1,564	
歯 科	19	13	532	
合計	853	561	2,096	



国

統

流

ア

協定大学等分布

令和3年5月1日現在



協定一覧

大学間協定181件

国・地域名	大学等名
インドネシア	ボゴール農科大学、ハサヌディン大学、ガジャマダ大学、アンダラス大学、インドネシア大学、スラバヤ工科大学
カンボジア	カンボジア国立教育大学、王立ブノンベン大学、カンボジア王国労働・職業訓練省労働安全衛生部門
タイ	マヒドン大学、メージョー大学、カセサート大学、チュラロンコン大学、プリンスオプソンクラー大学、チェンマイ大学、タマサート大学、 モンクット王工科大学ラートクラバン校、キングモンクット工科大学トンブリ校
台湾	国立台湾大学、国立台北科技大学、開南大学、国立中興大学、輔仁大学、長庚大学、国立高雄大学、高雄医学大学、淡江大学、国立東華大学
大韓民国	光州科学技術院、成均館大学校、高麗大学校、江原大学校、全南大学校、アジア太平洋国際理解教育センター
大韓民国・	上海中医薬大学·圓光大学校※1
中華人民共和国	
中華人民共和国	東北師範大学、内蒙古農業大学、鄭州大学、中国科学院昆明植物研究所、大連工業大学、遼寧科技大学、同済大学、中国医科大学、 ハルピン医科大学、大連医科大学、吉林大学、北京信息科技大学、上海理工大学、河南科技大学、内蒙古大学、首都師範大学、長春理工大学、 陝西師範大学、ハルピン工程大学、華東政法大学、延辺大学、中山大学、吉林華橋外国語学院、南方医科大学、北京外国語大学、河北医科大学、 中国政法大学、東北大学、天津市中心婦産科医院、浙江工業大学、浙江工商大学、北京理工大学、西安外国語大学、蘭州大学
バングラデシュ	バングラデシュ農科大学
フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学、サン・カルロス大学
ベトナム	ダラット大学、フエ大学、ハノイエ科大学、ベトナム国家大学ハノイ、ハイフォン医科薬科大学、ノンラム大学、ハノイ医科大学
マレーシア	マレーシア工科大学、マラヤ大学、マレーシアプトラ大学
ミャンマー	ミャンマー国保健省医科学局及び医学研究局、マンダレー工科大学、ヤンゴン工科大学、ヤンゴン看護大学、ヤンゴン第一医科大学、バテイン大学、ヤンゴン第二医科大学、ミャンマー国保健省食品医薬品局、ミャンマー国教育省高等教育局、ヤタナボンサイバーシティ工科大学、ヤンゴン情報技術大学、マグウェイ医科大学、ヤンゴン経済大学、マンダレーコンピュータ大学、ミャンマー国保健・スポーツ省医療サービス局、マンダレー医科大学
モンゴル	モンゴル生命科学大学、モンゴル国立大学
トルコ	カラデニーズ工科大学、エーゲ大学、トゥルグットオザル大学、ジルベ大学
ウガンダ	マケレレ大学
エジプト	カイロ大学
ガーナ	ガーナ大学
ケニア	ジョモケニアッタ農工大学
オーストラリア	サウスオーストラリア大学、アデレード大学、ウエスタンオーストラリア大学、サザンクロス大学、スウィンバーン工科大学
アメリカ合衆国	サンノゼ州立大学、カリフォルニア州立大学イーストベイ校、カンザス大学、ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校、カリフォルニア州立大学フラトン校、南オレゴン大学、メリーランド大学ボルチモア校、アリゾナ州立大学、グアム大学、カリフォルニア州立大学モントレイベイ校、ハワイ大学マノア校、ビッソバーグ大学、チャタム大学、アパラチアン州立大学、ノーザンアイオワ大学、ウエイン州立大学、ボートランド州立大学、ミズーリ大学、ダラスバプティスト大学、ウィチタ州立大学、ノースカロライナ大学グリーンズボロ校、カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校、ロードアイランド大学、シェファード大学、テネシー工科大学
カナダ	アルバータ大学、ビショップス大学、カールトン大学、ケベック先端科学技術大学院大学(INRS)、ブリティッシュコロンビア大学、ヨーク大学
ブラジル	リオデジャネイロ州立大学、パウリスタ大学、サンパウロ大学
コスタリカ	地球憲章国際本部
イタリア	ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学、ローマ・ラ・サビエンツァ大学、トリノ大学
英国	シェフィールド大学、カーディフ大学、エジンバラ大学、イースト・アングリア大学、ヨーク・セントジョン大学、サリー大学、ケント大学
オーストリア	国際原子力機関
オランダ	ユトレヒト大学カレッジ、ロッテルダム応用科学大学
スイス	国連貿易開発会議
スペイン	ムルシア大学
セルビア	ノヴィサド大学、ベオグラード大学
ドイツ	ハノーファー大学
フランス	ソルボンヌ大学、ストラスブール大学、ボルドーモンテーニュ大学、グルノーブル工科大学、西ブルターニュ大学、クレルモン・オーベルニュ大学、トゥルーズ第3ボール・サバティエ大学、ポワティエ大学、トゥールーズ国立工科大学、パリ・サクレー大学、サントラル・シュペレック大学(パリ・サクレ大学構成校)
ベルギー	ゲント大学
ポーランド	アダム・ミツキエヴィチ大学
ポルトガル	リスポン大学

注:※1印は、3大学間協定であることを示す。

協定一覧

部局間協定205件

国・地域名 社会文化科学研究科	
台湾	国立嘉義大学人文芸術学院、政治大学法学院、国立中正大学社会科学院·
上绘口图	法学院※2
大韓民国 中華人民共和国	国民大学校社会科学大学国際学部、蔚山大学校※2 上海社会科学院部門経済研究所、浙江大学経済学院、復旦大学中国語言
1-1/00///11	文学系、山東大学韓国学院、吉林省社会科学院、上海海事大学法学院
	杭州師範大学※3
トルコ	チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学社会科学研究所
スペイン ドイツ	サラマンカ大学 ベルリン自由大学歴史・文化学部
** ノ 自然科学研究科(4	9件)
インド	スリ・ラマサミー・メモリアル大学科学人文学部、ハイデラバード大学生命
	科学学部※2
インドネシア	スラバヤ電子工学ポリテクニック、ブラウィジャヤ大学理学部、インドネシ
	ア原子力庁・アイソトーブ放射線利用センター、国立マランポリテクニック ※2、メルデカマラン大学大学院及び工学部※4
タイ	※2、バルフパ・フィッチ・デルスとは、 スワンスナンター・ラチャパット大学理工学部※3、ブラバー大学理学 部※2、シラパコーン大学薬学部※2
	部※2、シラバコーン大学薬学部※2
台湾	国立台湾師範大学工学部
大韓民国	漢陽大学工学部、群山大学校産学融合工科大学及び工科大学※2、昌原
	大学校一般大学院、ソウル国立大学自然科学学部物理天文学科※2、â 山大学校工科大学※3
中華人民共和国	加入子校工行入子派3 浙江大学材料及び化学工程学院、西安交通大学、中国科学院上海有機化
1-1/0///14	学研究所、北京大学医学部、中国科学院大連化学物理研究所、中国人民
	大学化学科、香港中文大学理学院化学科、中国科学院福建物質構造研究
	所、厦門大学材料学院、北京大学生命科学学院、中国科学院北京植物研
	究所、中国地質大学(武漢)地質過程·鉱産資源国家重点実験室※3
バン・ガニニン・-	西安交通大学化学学院及び物理学院※4
バングラデシュ	ラジシャヒ大学工学部、バンガバンドゥ・シェイク・ムジブル・ラーマン ション・ション・カー・ション・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・
エジプト	ン科学技術大学工学部 サウスバレー大学、エルーメノフェイア大学理学部
エンフト エチオピア	アジスアベバ大学自然科学計算科学科※3
カナダ	サスカチュワン大学文理学部※3
アメリカ合衆国	パーデュー大学理学部、オハイオ州立大学アーツアンドサイエンス校
イタリア	マルシェ科学技術大学工学部※3、フェデリコⅡ世・ナポリ大学物理等
+=\./	科※3
オランダ スペイン	デルフト工科大学機械・海洋・材料工学科 ジローナ大学理学部
人へ1ノ チェコ	カレル大学理学部
デンマーク	コペンハーゲン大学理学部
ドイツ	ミュンスター大学生物学部
フランス	- ハリ・サクレー大字エコール・ホリテクニーク校、ソルホンメ大字科写
~	技術工学部※4、ボルドー大学自然科学および科学技術校※3
ブルガリア	ソフィア大学化学及び薬学部
ポーランド 保健学研究科(3件	ポーランド科学アカデミー物理学研究所※3
本庭子がスペー(SIT タイ) シーマハサラカム看護大学
大韓民国	釜山カトリック大学看護学科・臨床検査学科・放射線学科
台湾	長庚大学医学生物技術臨床検査学科
景境生命科学研究科	1 (25件)
インドネシア	スマトラウタラ大学大学院天然資源環境管理研究科、バンドゥン工科プ
スリランカ	学土木環境工学部 ルフナ大学農学部
<u> </u>	ブラバー大学理学部※3、シーナカリンウィロット大学理学部※3
大韓民国	檀国大学校工科大学
中華人民共和国	河北農業大学林学院、華中農業大学経済管理·土地管理学院
ベトナム	フエ農林大学、ハノイ土木大学・環境理工学研究所、ホーチミン市経済
	大学経済学部、ダナン工科大学、ドンナイ省科学技術局、アンジャンナ
	学、ハノイ天然資源環境大学、ダナン大学技術教育大学、カントー大学 大学院、バンヒェン大学※3
アメリカ合衆国	アラスカ大学フェアバンクス校国際北極圏研究センター
イタリア	テラモ大学獣医学部
ポーランド	グダニスク工科大学土木環境工学部
英国	エクセター大学生命環境科学院
ドイツ	ドレスデン工科大学環境学部 ソルボンヌ大学科学技術工学部※4
フランス ブラジル	ソルホンメ大学科学技術工学部※4 サンバウロ大学地球科学研究所
ノフンル 医歯薬学総合研究科	
インドネシア	ウダヤナ大学医学部
大韓民国	東国大学校慶州キャンパスバイオ融合研究院、建国大学KU オープン
	イノベーションセンターBK21プラスプログラム
中華人民共和国	浙江省人民病院※3
ニュージーランド アメリカ合衆国	オタゴ大学保健学部局※3 アーカンソー大学フェイエットビル校
アメリカ古水国 イタリア	ラクイラ大学医学部
チェコ	カレル大学第1医学部
ドイツ	ユリウス・マクシミリアン大学医学部ヴュルツブルグ※3
フランス	パリ神経科学大学院、ソルボンヌ大学科学技術工学部※4
	科学研究科(6件)
	アミティ大学コルカタ校、シスター・ニヴェーディター大学
インド	
インド インドネシア	
インドネシア	* 4
インド インドネシア デンマーク フランス	
インドネシア デンマーク フランス 文学部(7件)	※ 4 デンマークエ科大学電気工学科 ソルボンヌ大学科学技術工学部※ 4
インドネシア デンマーク フランス 文学部 (7件) 大韓民国	※ 4 デンマークエ科大学電気工学科 ソルボンヌ大学科学技術工学部※ 4 蔚山大学校※ 2
インドネシア デンマーク フランス 文学部 (7件) 大韓民国 中華人民共和国	※ 4 デンマークエ科大学電気工学科 ソルボンヌ大学科学技術工学部※ 4 蔚山大学校※ 2 山東大学政治学・公共管理学院、浙江大学人文学院、杭州師範大学※ 3
インドネシア デンマーク フランス 文学部 (7件) 大韓民国	※ 4 デンマークエ科大学電気工学科 ソルボンヌ大学科学技術工学部※ 4 蔚山大学校※ 2 山東大学政治学・公共管理学院、浙江大学人文学院、杭州師範大学※ 3 ルール大学ボーフム人文諸学部、トリア大学第二学部言語・文学・メディ
インドネシア デンマーク フランス 文学部 (7件) 大韓民国 中華人民共和国 ドイツ	※ 4 デンマーク工科大学電気工学科 ソルボンヌ大学科学技術工学部※ 4 蔚山大学校※ 2 山東大学政治学・公共管理学院、浙江大学人文学院、杭州師範大学※ 3 ルール大学ボーフム人文諸学部、トリア大学第二学部言語・文学・メディア学
インドネシア デンマーク フランス 文学部 (7件) 大韓民国 中華人民共和国 ドイツ	※ 4 デンマークエ科大学電気工学科 ソルボンヌ大学科学技術工学部※ 4 蔚山大学校※ 2 山東大学政治学・公共管理学院、浙江大学人文学院、杭州師範大学※ 3 ルール大学ボーフム人文諸学部、トリア大学第二学部言語・文学・メディ
インドネシア デンマーク フランス 文学郎 (7件) 大韓民国 中華人民共和国 ドイツ コシア 教育学部 (2件)	※ 4 デンマーク工科大学電気工学科 ソルボンヌ大学科学技術工学部※ 4 蔚山大学校※ 2 山東大学政治学・公共管理学院、浙江大学人文学院、杭州師範大学※ 3 ルール大学ボーフム人文諸学部、トリア大学第二学部言語・文学・メディア学
インドネシア デンマーク フランス 文学部 (7件) 大韓民国 中華人民共和国 ドイツ コシア 教育学部 (2件) オーストラリア	※ 4 デンマークエ科大学電気工学科 ソルポンヌ大学科学技術工学部※ 4 蔚山大学校※ 2 山東大学政治学・公共管理学院、浙江大学人文学院、杭州師範大学※ 3 ルール大学ボーフム人文諸学部、トリア大学第二学部言語・文学・メディア学 国立アカデミー人文大学
インドネシア デンマーク フランス 文学部 (7件) 大韓民国 中華人民共和国 ドコシア 教育学部 (2件) インドネシア オーストラリア 去学部 (2件)	※ 4 デンマークエ科大学電気工学科 ソルポンヌ大学科学技術工学部※ 4 蔚山大学校※ 2 山東大学政治学・公共管理学院、浙江大学人文学院、杭州師範大学※ 3 ルール大学ボーフム人文諸学部、トリア大学第二学部言語・文学・メディア学 国立アカデミー人文大学 インドネシア教育大学数学・自然科学教育学部 キャンベラ大学
インドネシア デンマーク フランス 文学部 (7件) 大韓民国 中華人民共和国 ドイツ コシ育学部 (2件) インドネシア オーストラリア オーストラリア 大学第 (2件)	※ 4 デンマーク工科大学電気工学科 ソルボンヌ大学科学技術工学部※ 4 蔚山大学校※ 2 山東大学政治学・公共管理学院、浙江大学人文学院、杭州師範大学※ 3 ルール大学ボーフム人文諸学部、トリア大学第二学部言語・文学・メディア学 国立アカデミー人文大学 インドネシア教育大学数学・自然科学教育学部 キャンベラ大学 国立中正大学社会科学院・法学院※ 2
インドネシア デンマーク フ文学部 (7件) 大韓民国 中華人民共和国 ドイツ コシア 教育学部 (2件) インドネシア オーストラリア 去学部 (2件) 台湾 (2件) 台湾 (2件)	※ 4 デンマークエ科大学電気工学科 ソルポンヌ大学科学技術工学部※ 4 蔚山大学校※ 2 山東大学政治学・公共管理学院、浙江大学人文学院、杭州師範大学※ 3 ルール大学ボーフム人文諸学部、トリア大学第二学部言語・文学・メディア学 国立アカデミー人文大学 インドネシア教育大学数学・自然科学教育学部 キャンベラ大学
インドネシア デンマーク フランス 文学部 (7件) 大韓民国 中華人民共和国 ドイツ 政育学部 (2件) インドネシア オーストラリア 大学部 (2件) 台湾 中華 人民共和国 経済学部 (3件)	※4 デンマーク工科大学電気工学科 ソルボンヌ大学科学技術工学部※4 蔚山大学校※2 山東大学政治学・公共管理学院、浙江大学人文学院、杭州師範大学※3 ルール大学ボーフム人文諸学部、トリア大学第二学部言語・文学・メディア学 国立アカデミー人文大学 インドネシア教育大学数学・自然科学教育学部 キャンベラ大学 国立中正大学社会科学院・法学院※2 北京大学法学院
インドネシア デンマーク フランス フラデの (7件) 大韓民国 中華人民共和国 ドイツ コシ育学部 (2件) インドネシア オーストラリア 去台等 (2件) ・ (2件) ・ (2件) ・ (2件) ・ (2件) ・ (3件) ・ (3件) ・ 大韓民国 ・ (3件) ・ (3件) ・ (3件) ・ (4件) ・ (4+) ・ (4	※ 4
インドネシア デンマーク フラデ部 (7件) 大韓民国 中華イツ ンシア部 (2件) 大韓民民共和国 ドコシア学部 (2件) インストラリア 大学湾 (2件) インストラリア 大学湾 (2件) インストラリア 大学湾 (3件) 大韓民国 中経済学園 中経済民国 中華人民共和国	※ 4 デンマークエ科大学電気工学科 ソルボンヌ大学科学技術工学部※ 4 蔚山大学校※ 2 山東大学政治学・公共管理学院、浙江大学人文学院、杭州師範大学※ 3 ルール大学ボーフム人文諸学部、トリア大学第二学部言語・文学・メディア学 国立アカデミー人文大学 インドネシア教育大学数学・自然科学教育学部 キャンベラ大学 国立中正大学社会科学院・法学院※ 2 北京大学法学院 江原大学校経営大学 中央財経大学経済学院
インドネシア デンマーク フラデ部 (7件) 大韓民国 中華イツ ンシア部 (2件) 大韓民民共和国 ドコシア学部 (2件) インストラリア 大学湾 (2件) インストラリア 大学湾 (2件) インストラリア 大学湾 (3件) 大韓民国 中経済学園 中経済民国 中華人民共和国	※ 4
インドネシア デンマーク フンス 文学部 (7件) 大韓民国 中ドイツ 取育学部 (2件) 日本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	※ 4
インドネシア デンマーク フラデ部 (7件) 大韓民国 中華イツ ンシア部 (2件) 大韓民民共和国 ドコシア学部 (2件) インストラリア 大学湾 (2件) インストラリア 大学湾 (2件) インストラリア 大学湾 (3件) 大韓民国 中経済学園 中経済民国 中華人民共和国	※ 4 デンマークエ科大学電気工学科 ソルボンヌ大学科学技術工学部※ 4 蔚山大学校※ 2 山東大学政治学・公共管理学院、浙江大学人文学院、杭州師範大学※ 3 ルール大学ボーフム人文諸学部、トリア大学第二学部言語・文学・メディア学 国立アカデミー人文大学 インドネシア教育大学数学・自然科学教育学部 キャンペラ大学 国立中正大学社会科学院・法学院※ 2 北京大学法学院 江原大学校経営大学 中央財経大学経済学院
インドネシア デンマーク フラ学部 (7件) 大韓民国 中華 大学	※ 4 デンマーク工科大学電気工学科 ソルボンヌ大学科学技術工学部※ 4 蔚山大学校※ 2 山東大学政治学・公共管理学院、浙江大学人文学院、杭州師範大学※ 3 ルール大学ボーフム人文諸学部、トリア大学第二学部言語・文学・メディア学 国立アカデミー人文大学 インドネシア教育大学数学・自然科学教育学部 キャンペラ大学 国立中正大学社会科学院・法学院※ 2 北京大学法学院 江原大学校経営大学 中央財経大学経済学院 ブカレスト大学行政及び経営管理学部 ハイデラバード大学生命科学学部※ 2 アジスアベバ大学自然科学計算科学大学※ 3
インドネシア デフマーク フランス 文学部 (7件) 大韓民国 中華人民共和国 ドイツ 教育学部 (2件) インドネシア オーストラリア 大学部 (2件) 大学部 (2件) 大学部 (2件) 大学部 (2件) 大学部 (3件) 大韓民民共和国 建済等 (10件) インドネシア オーストラリア 大学部 (10件) インドネシア エデア エデア エディア・ビア	デンマークエ科大学電気工学科 ソルボンヌ大学科学技術工学部※ 4 蔚山大学校※ 2 山東大学政治学・公共管理学院、浙江大学人文学院、杭州師範大学※ 3 ルール大学ボーフム人文諸学部、トリア大学第二学部言語・文学・メディ ア学 国立アカデミー人文大学 インドネシア教育大学数学・自然科学教育学部 キャンペラ大学 国立中正大学社会科学院・法学院※ 2 北京大学法学院 江原大学校経営大学 中央財経大学経済学院 ブカレスト大学行政及び経営管理学部 ハイデラバード大学生命科学学部※ 2

国・地域名	大学等名
<u>アメリカ合衆国</u> ドイツ	ノートルダム大学理学部 コンスタンツ大学化学部
ポーランド	クラコフ工科大学
医学部(9件)	
大韓民国 台湾	長庚大学医学部
中華人民共和国	中国医学科学院北京協和医学院、南昌大学医学院
チェコ ハンガリー	マサリク大学医学部 デブレツェン大学医学部、センメルワイス大学医学部
ニュージーランド	オタゴ大学保健学部局※3
アメリカ合衆国	ミシガン大学医学部
<u>歯学部(32件)</u> インド	ニッテ大学歯学部(ABSM 歯学研究所)
インドネシア	ガジャマダ大学、ハサヌディン大学歯学部
台湾	台北医学大学口腔医学院
大韓民国 中華人民共和国	ソウル大学歯学部 南昌大学医学院、北京大学口腔医学院、大連医科大学口腔医学院、香港
	大学歯学部、桂林医学院口腔医学院
モンゴル フィリピン	モンゴル医科大学歯学部 サウスウェスタン大学歯学部
ベトナム	ハノイ医科大学歯学部
マレーシア ミャンマー	マラヤ大学歯学部
<u>ニャンマー</u> パレスチナ	ヤンゴン歯科医学大学、マンダレー歯科医学大学 アラブアメリカン大学歯学部
オーストラリア	チャール人・人ダート大学圏学部
ニュージーランド	オタゴ大学歯学部
ブラジル	サンパウロ大学歯学部、サンパウロ大学リベイランプレット歯学部、イビラブエラ大学歯学部
チリ	フィニステラエ大学歯学部、チリ大学歯学部、チリ・カトリック大学歯
アメリカ合衆国	学部 ワシントン大学歯学部、オハイオ州立大学歯学部
カナダ	サスカチュワン大学歯学部、ブリティッシュコロンビア大学歯学部、ト
 英国	ロント大学歯学部 グラスゴーナ学歯学部
ギリシャ	│ グラスゴー大学歯学部 │ テッサロニキアリストテレス大学歯学部
薬学部(2件)	
台湾 大韓民国	台北医学大学薬学部 梨花女子大学校薬学大学
工学部(15件)	
インドネシア	国立マランポリテクニック※2、メルデカマラン大学大学院及び工学部※
大韓民国	│ 4 │済州大学校工科大学、忠北国立大学電子·計算機工学部、群山大学校産
	学融合工科大学·工科大学※2、釜山大学校工科大学※3
中華人民共和国	上海交通大学機械・動力工程学院、四川大学化学学院、同済大学機械工 学部
バングラデシュ	クルナ大学科学工学技術学校
アメリカ合衆国	ミズーリ大学ローラ校工学部
イタリア フィンランド	ローマ第3大学工学部 タンペレ工科大学
ポルトガル	ポルト大学工学部
ルーマニア 環境理工学部 (1件)	ペトルポニ高分子化学研究所
カナダ	サスカチュワン大学工学部
農学部(7件)	井 / ニュニン・ゼエペーフロリンジ・・ レエベ曲 単句
インドネシア 中華人民共和国	サム・ラチュランギ大学、スリビジャヤ大学農学部 浙江大学農業生物技術学院
タイ	ワライラック大学理学部、シーナカリンウイロット大学理学部※3 ドンナイ・バイオテクノロジー・ハイテク・パーク、バンヒェン大学※
ベトナム	ドンナイ・バイオテクノロジー・ハイテク・バーク、バンヒェン大学** 3
資源植物科学研究所	(17件)
台湾	中央研究院植物微生物学研究所
中華人民共和国	西北農林科学技術大学植物保護学科、福建農林大学・根研究センター、 南方科技大学植物与食品研究所、上海師範大学生命科学学院
タイ	ブラバー大学理学部※3
アメリカ合衆国 チリ	ボイス・トンプソン植物科学研究所
マレーシア	ツンク・アブドゥル・ラーマン大学(拉曼大学)
カザフスタン	植物科学バイオテクノロジー研究所
<u>スイス</u> チェコ	国立自然環境研究所(WSL) チェコ科学アカデミー植物学研究所
ドイツ	ミュンスター大学生物学科
ロシア	ロシア連邦国立科学センター生物医学研究所、カザン大学基礎医学生物 学研究所
ケニア	国際畜産研究所
ウガンダ 惑星物質研究所(4件	ウガンダ国立作物資源研究所
中華人民共和国	 中国地質大学(武漢)地質過程·鉱産資源国家重点実験室※3
アメリカ合衆国	リーハイ大学地球環境科学科、カーネギー研究機構・地球惑星研究所
カナダ 異分野基礎科学研究所	ウェスタンオンタリオ大学・地球科学部 「(11件)
大韓民国	ソウル国立大学自然科学学部物理天文学科※2
タイ	ブラバー大学理学部※2、ウィタヤシリメティー科学技術大学院大学、 シラバコーン大学薬学部※2
中華人民共和国	西安交通大学化学学院及び物理学院※4
イタリア	マルシェ科学技術大学工学部※3、フェデリコⅡ世・ナポリ大学物理学
フランス	科※3 ボルドー大学自然科学および科学技術校※3
ポーランド	ポーランド科学アカデミー物理学研究所※3
カナダ インド	サスカチュワン大学文理学部※3 ハイデラバード大学生命科学学部※2
岡山大学病院(5件)	
台湾	台中榮民総合病院
中華人民共和国ベトナム	浙江省人民病院※3 循環器センターE病院
ミャンマー	ビクトリア病院
ドイツ グローバル人材育成院	│ ユリウス・マクシミリアン大学医学部 ヴェルツブルグ※3 〒 (4件)
中華人民共和国	:(414) 青島科技大学国際交流与合作処、大連海事大学外国語学院、江蘇理工学
	院外国語学部
<u>オランダ</u>	ライデン大学人文学部 は、※ 〇〇〇は、 4 如早間ね中でもステレキニナ
	注:※2印は、4部局間協定であることを示す。 ※3印は、3部局間協定であることを示す。

主: ※2印は、4部局間協定であることを示す。 ※3印は、3部局間協定であることを示す。 ※4印は、5部局間協定であることを示す。

革

職

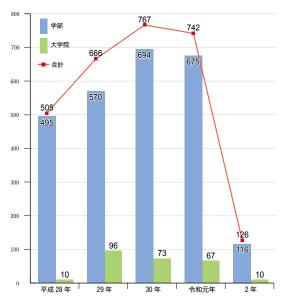
义

等統

計

海外留学者数の推移

留学経験者数(日本人学生)の推移



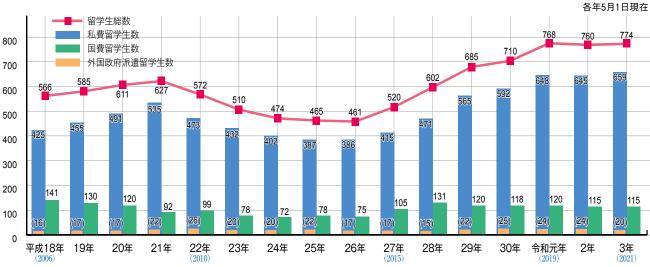
注1:スーパーグローバル大学創生支援事業の実績値より。 注2:スーパーグローバル大学創生支援事業の実績値として カウントされたオンラインプログラムへの参加者を含む。

国別·期間別内訳

T) THZ							
区	分	6ヶ月未満	6ヶ月以上	合計			
アジア	台湾	1	1	2			
	タイ	3		3			
	韓国	2	4	6			
	シンガポール		1	1			
	中国	32	2	34			
	マレーシア	7		7			
	フィリピン	7	1	8			
	ミャンマー	9		9			
	計	61	9	70			
オセアニア	オーストラリア	8		8			
	計	8		8			
北米	米国	7	7	14			
	カナダ		2	2			
	計	7	9	16			
ヨーロッパ	アイルランド	10		10			
	英国	5	4	9			
	ドイツ		2	2			
	イタリア	3		3			
	フランス	2	2	4			
	チェコ	1		1			
	スペイン	3		3			
	計	24	8	32			
f	計	100	26	126			

令和2年度

外国人留学生数の推移



注1:私費留学生数には外国政府派遣留学生(文部科学省を経由して受け入れを行った者)を含む。

注2: 留学生数には兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の外国人留学生で、構成大学である岡山大学(指導教員)に属する者を含む。

国籍・地域別・在籍身分別

令和3年5月1日現在

山和	20300 11相为力	3777 1工相为 7777				
		大学		学部	研究生・	
	区分	博士	修士	学生	その他	計
		課程	課程			
アジア	中国	155	192	43	67	457
	ベトナム	24	19	9	1	53
	韓国	3	3	32	1	39
	インドネシア	15	2	13	2	32
	ミャンマー	17	3	4		24
	バングラデシュ	16	1	3		20
	マレーシア	2		14	2	18
	台湾	2	4	3	2	11
	インド	5		2		7
	タイ	2		4		6
	フィリピン			5		5
	スリランカ	3		1		4
	モンゴル		2			2
	カンボジア			2		2
	ネパール		1			1
	パキスタン		1			1
	ラオス				1	1
	小計	244	228	135	76	683
中東	アフガニスタン	1	2			3
	シリア	3				3
	イエメン	2				2
	イラン	1	1			2
	トルコ	1	1			2
	イラク	1				1
	サウジアラビア	1				1
	パレスチナ	1				1
	ヨルダン	1				1
	小計	12	4	0	0	16
アフリオ	カ ガーナ	4	2	3	1	10
	エジプト	5	1		1	7
	ケニア	6			1	7
	ナイジェリア	1	1	1		3
	タンザニア	1		1		2
	南アフリカ			2		2
	田ノ ノ ノル			۷		

		大学	院生	224.4D	7115 42 44	
	区分	博士 課程	修士 課程	学部 学生	研究生・ その他	計
アフリカ	エチオピア	1	HAVIT			1
	コートジボワール				1	1
	チュニジア	1				1
	マダガスカル			1		1
	マラウイ			1		1
	モーリタニア・イスラム			1		1
	リベリア			1		1
	南スーダン			1		1
	小計	19	4	12	4	39
北米	アメリカ合衆国	1	1	4		6
	カナダ			2		2
	小計	1	1	6	0	8
中南米	ペルー	2				2
	メキシコ	1				1
	ニカラグア				1	1
	ブラジル				1	1
	パラグアイ	1				1
	トリニダード・トバゴ		1			1
	小計	4	1	0	2	7
ヨーロッパ (NIS諸国を含む)	オランダ				4	4
	イギリス イタリア	1	4		2 2	3
	1ダリア ロシア		1 1	1		2
	ドイツ		'	'	1	1
	フランス		1		'	1
	スペイン		·		1	1
	ルーマニア	1				1
	ウズベキスタン	1				1
	カザフスタン			1		1
	ボスニア·ヘルツェ ゴビナ				1	1
	セルビア				1	1
	キルギス			1		1
	小計	3	3	3	12	21
合語	計 61カ国	283	241	156	94	774

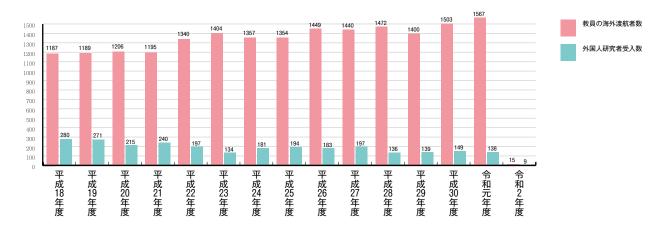
経費別・在籍身分別

	在籍区分	大学	院生		研究生・	
経費区分		博士課程	修士課程	学部学生	その他	計
国費	大使館推薦	18	5	4	2	29
	大学推薦	66	7	3	2	78
日韓共同理工系学部留学生(日本				8		8
	小計	84	12	15	4	115
私費	日韓共同理工系学部留学生(韓国政府)			8		8
	マレーシア政府派遣			12		12
	自費	199	229	121	90	639
	小計	199	229	141	90	659
	合計	283	241	156	94	774

統

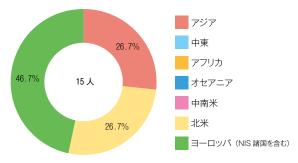
教員の海外渡航者数及び外国人研究者受入状況

教員の海外渡航者数及び外国人研究者受入数の推移



地域別教員の海外渡航者数

令和2年度

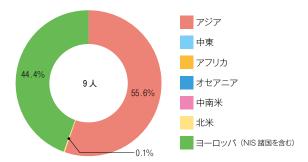


地域・国別教員の海外渡航者数及び外国人研究者受入数

令和2年度

	区分	渡航数 (人)	受入数 (人)
アジア	中国		3
	ベトナム	1	1
	タイ王国	1	
	台湾	1	
	インドネシア共和国		1
	シンガポール共和国	1	
	計	4	5
中東			
	計		
アフリカ			
	計		
オセアニア	オーストラリア		
	その他		
	計		
中南米			
	計		
北米	アメリカ	4	
	計	4	
ヨーロッパ	【EU加盟国】		
(NIS諸国を含む)	ドイツ	2	
	フランス	_	3
	英国	2	
	スペイン		
	オーストリア ベルギー	2	
	·		1
	デンマーク 【その他のヨーロッパ 】		I
	計	7	4
	 合計	15	9
	нні	- 13	9

地域別外国人研究者受入数



決算/予算

令和2事業年度決算

貸借対照表

■資産の部 I. 固定資産 1. 有形固定資産 108,345 無形固定資産 294 3. 投資その他の資産 1,913 固定資産合計 110,553 Ⅱ. 流動資産 現金及び預金 13,582 未収収入 7,018 その他の流動資産 478 流動資産合計 21,080 131,633 資 産 合 計

	(単位:百万円)
科目	金額
■負債の部	
I. 固定負債	34,241
Ⅱ.流動負債	18,367
負債合計	52,609
■純資産の部	
	69,642
Ⅱ.資本剰余金	1,325
Ⅲ.利益剰余金	8,057
純資産合計	79,024
負債純資産合計	131,633

令和3年3月31日

損益計算書

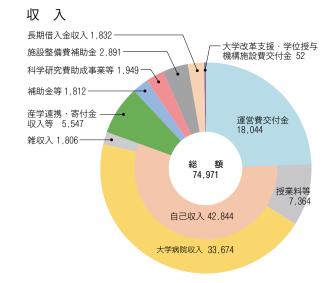
令和2年4月1日~令和3年3月31日 (単位:百万円)

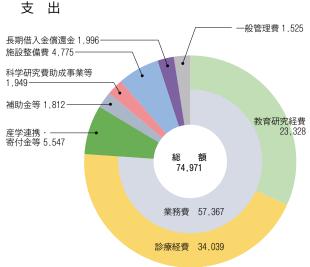
<u></u>	(単位:白万円)
科目	金額
経常費用	67,929
業務費	66,426
一般管理費	1,345
その他の費用	157
経常収益	69,965
運営費交付金収益	18,077
——学生納付金収益 一	7,492
	32,287
その他の収益	12,109
経常利益	2,036
臨時損失	67
臨時利益	107
当期純利益	2,077
目的積立金取崩額	48
当期総利益	2,125

※金額の単位は、百万円未満を切り捨てて記載しています。 ※文部科学大臣の承認を受けるまでは、金額等の変更が生じる ことがあります。

令和3年度予算

(単位:百万円)





交

ア

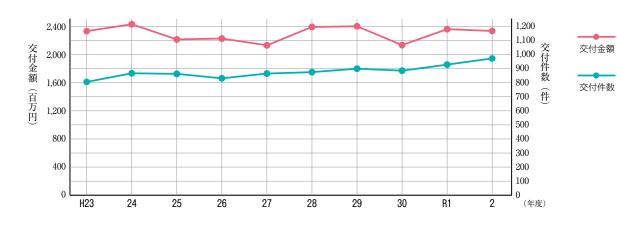
科学研究費助成事業

研究種目	採択件数	配分額(単位:千円)
特別推進研究	0	0
基盤研究(S)	2	153,140
基盤研究(A)	24	265,850
基盤研究(B)	136	661,310
基盤研究(C)	497	618,930
挑戦的研究(開拓)	5	36,530
挑戦的研究(萌芽)	16	34,320
若手研究	218	301,860
研究活動スタート支援	34	46,410
特別研究員奨励費	26	26,400
新学術領域研究(研究領域提案型)	18	174,720
国際共同研究加速基金	20	42,380
計	996	2,361,850

注:配分額には間接経費として措置された金額を含む。

【配分額及び採択件数の推移】

年度	23 (2011)	24 (2012)	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)
交付金額 (単位:千円)	2,334,819	2,431,524	2,215,276	2,228,337	2,131,650	2,392,540	2,402,305	2,134,663	2,361,015	2,335,450
交付件数	807	867	863	832	865	875	899	885	927	970



外部資金受入状況

令和2年度

区分	件数	受入額(単位:千円)
民間等との共同研究	349	509,609
受託研究	252	1,694,762
寄付金	2,725	1,361,976

共同研究講座

令和3年5月1日現在

部局名	講座名	設置期間	設置目的
大学院医歯薬学総合研究科	人工知能応用メディカル イノベーション創造部門		人工知能を用いた医薬品情報収集・管理・共有・提供システムの最適な 運用を検討し、有用性検証、臨床需要との整合性確認を行った上で、 普及啓発を通した社会・地域貢献と教育への応用体制の確立を目指す。

寄付講座・寄付研究部門 令和3年5月1日現在

部局名	講座・研究部門名	設置期間	設置目的
大学院医歯薬学総合研究科	運動器医療材料開発講座	平成19年4月1日~ 令和4年3月31日	運動器医療材料の開発や研究を行い、運動器医療の発展に貢献するため
大学院医歯薬学総合研究科	先端循環器治療学講座	平成22年4月1日~ 令和4年3月31日	高度最先端循環器内科治療を地域に普及させるため
大学院医歯薬学総合研究科	地域医療人材育成講座	平成22年5月1日~ 令和4年3月31日	将来の岡山県の地域医療を担う人材の育成や地域医療の支援と連携に係る教育研究を行う とともに、その研究成果の普及を行い、県民の健康・福祉の向上に寄与するため
大学院医歯薬学総合研究科	運動器知能化システム開発(帝人ナカ シマ メディカル)講座	平成22年9月1日~ 令和4年3月31日	インブラントデバイスの高機能化及びコンピューターテクノロジーを応用した手術支援システムによる運動器の再構築を目指し、その基礎研究結果を早期に臨床応用するため
大学院医歯薬学総合研究科	CKD·CVD地域連携包括医療学講座	平成23年11月1日~ 令和4年10月31日	CVD (心血管疾患) の専門家である循環器内科との密接な協力によりCKD (慢性腎臓病) 医療の発展と末期腎不全患者数増加の抑制、心血管疾患合併の予防に貢献するため
大学院医歯薬学総合研究科	小児急性疾患学講座	平成25年4月1日~ 令和5年3月31日	福山・府中圏域における小児救急医療に関わる医師の育成及び効果的な医療提供体制に関する研究を行い、 将来に亘り持続可能な小児救急医療体制を構築するため
大学院医歯薬学総合研究科	救急外傷治療学講座	平成26年11月1日~ 令和4年10月31日	外傷診療や災害時の外傷の諸課題に対応するために外傷診療システムの構築と外傷診療 に精通した人材の教育・養成を行い、最適な外傷の救急医療体制の構築に貢献するため
大学院教育学研究科	国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座	平成27年10月1日~ 令和6年3月31日	地域の芸術・文化資源を活かした美術鑑賞手法の開発と実践教育、国吉康雄の作品及び 画業と生き方の研究と顕彰、地域コミュニティと地域文化の発展に寄与する人材の育成の ため
大学院医歯薬学総合研究科	陽子線治療学講座	平成27年12月1日~ 令和3年11月30日	陽子線治療について、学生や医療従事者への教育・啓蒙、精通した人材の育成、普及・ 周知活動、研究を通じて癌治療成績の向上に寄与するため
大学院医歯薬学総合研究科	三朝地域医療支援寄付講座	平成28年1月1日~ 令和3年12月31日	三朝地域の医療機関における医療の質を維持・向上させ、最適な地域医療提供体制の整備・確立に寄与するとともに、地域医療を担う医師等の養成及び研修プログラムを開発するため
大学院医歯薬学総合研究科	血液浄化療法人材育成システム開発学講座	平成28年1月1日~ 令和3年12月31日	腎不全に対する治療法、特に血液透析を主体とする血液浄化療法に関する人材育成システムの開発について教育・研究を推進するため
大学院医歯薬学総合研究科	運動器外傷学講座	平成28年4月1日~ 令和5年3月31日	骨折疾患に対する多角的な現状調査、実際の治療を通じて新規治療法の研究開発、骨折 に対する若手医師や指導医などへの教育を行うため
大学院医歯薬学総合研究科	地域救急·災害医療学講座	平成29年4月1日~ 令和5年3月31日	地域医療、救急医療、災害医療を総括して研究するため
大学院医歯薬学総合研究科	岡山県南東部(玉野)総合診療医学講座	平成29年4月1日~ 令和6年3月31日	医療過疎対策地域医療学分野の研究をより一層発展させ、地域社会へ貢献するため
大学院医歯薬学総合研究科	岡山県南西部(笠岡)総合診療医学講座	平成29年4月1日~ 令和4年3月31日	総合医療など地域医療を担う医師等の養成及び現地ニーズに即した島しょ部医療に関する教育・研究を行い、地域医療の向上に寄与するため
中性子医療研究センター	国際連携部門	平成29年11月1日~ 令和4年3月31日	がん・希少疾患治療を対象とした中性子医療分野を確立した上で、鏡野町に新たに設置しようとする中性子医療関連の拠点において、さらなる人材育成と研究を行う環境を整えて いくため
大学院医歯薬学総合研究科	高齢者救急医療学講座	平成29年11月1日~ 令和4年10月31日	高齢化社会の進む井原市において、超高齢化医療過疎地域における適正な高齢者教急医療のあり方についての行政的課題に取り組むとともに、最適な地域医療体制(教急医療)の構築に寄与するため
大学院医歯薬学総合研究科	岡山県北西部(新見)総合診療医学講座	平成30年4月1日~ 令和5年3月31日	地域医療・へき地医療における教育・研究を基盤とし、円滑で継続的な地域医療における 医師の育成を支えるため
大学院医歯薬学総合研究科	運動器スポーツ医学講座	平成30年4月1日~ 令和6年3月31日	スポーツに伴う運動器損傷に対する医療をスポーツ復帰に至るまで重点的に取り組み、スポーツ損傷の予防と治療に関する研究を行うことで選手の競技能力を向上させるため
大学院医歯薬学総合研究科	災害医療マネジメント学講座	平成30年7月1日~ 令和5年3月31日	鳥取県東部圏域の災害教急に貢献する人材の育成及び教急医療体制に関する実践研究を 行うとともに、その成果の普及を行い、広域的な災害等が発生した場合の教急医療体制の 構築に寄与するため
大学院医歯薬学総合研究科	実践地域内視鏡学講座	平成31年4月1日~ 令和4年3月31日	内視鏡先進技術の開発と導入、及び地域医療機関における消化管疾患診療の構築について教育及び研究を行うため
大学院医歯薬学総合研究科	瀬戸内(まるがめ)総合診療医学講座	平成31年4月1日~ 令和6年3月31日	瀬戸内地域医療に関する教育・研究拠点を設置し、総合診療医・総合内科医など地域医療を担う医師等の養成及び香川県丸亀地区のニーズに即した医療に関する教育・研究を行うとともに、その成果の普及を行い、瀬戸内沿岸地域医療の向上に寄与するため
大学院自然科学研究科	おかやまIoT・AI・セキュリティ講座	令和元年10月1日~ 令和6年3月31日	岡山県内の企業と大学の連携を包括的にコーディネートする新たな拠点を設置し、県内の 大学等高等教育機関が積極的に地域産業と向き合うための仕組みを構築することで、県内 の産学官連携を新たな段階へ発展させるとともに、特に県内中小企業におけるIOT セコ リティ等に関連した技術開発力・企画提案力等の向上の担い手育成に加え、企業と大学と の接点づくりや共同研究等に参画する学生の発掘等を通じ、県内における新規雇用の創出 や県内で学ぶ学生の県内定着に向けた意識付けを図り、県内産業の底上げを目指すため
大学院医歯薬学総合研究科	くらしき総合診療医学教育講座	令和2年4月1日~ 令和7年3月31日	倉敷地域の医療現場に近く、緊密な形で継続的な医師の育成を支援し、若手医師への臨 床教育及び地域医療研究を実践し、本学と倉敷地域における医学教育連携を見える化す るため

土地•建物

令和3年5月1日現在

				7年3年3月1日発生
区分	土地(㎡)			所在地
<u></u> △万		建面積(㎡)	延面積(㎡)	別任地
■津島地区	639,621			
大学本部		22,504	50,688	岡山市北区津島中一丁目1-1
情報統括センター		993	2,355	″ 三丁目1-1
国際部		3,674	10,011	〃 二丁目1-1
附属図書館		4,049	16,386	〃 三丁目1-1
文学部・法学部・経済学部		5,823	19,399	" "
教育学部		7,471	21,194	" "
理学部		5,738	17,901	" "
薬学部		3,166	9,227	〃 一丁目1-1

沿

交

ア

ET /A	L-11b (2\			
区分	土地(㎡)	建面積(㎡)	延面積(㎡)	· 所在地 所在地
工学部		11,719	32,351	岡山市北区津島中三丁目1-1
環境理工学部		1,506	11,200	" "
農学部		6,191	15,494	岡山市北区津島中一丁目1-1
農学部附属 山陽圏フィールド科学センター岡山農場		3,623	4,298	∥ 津島桑の木町1-62
埋蔵文化財調査研究センター		325	494	〃 津島中三丁目1-1
大学院自然科学研究科		2,044	13,021	" "
研究推進機構		941	2,430	" "
自然生命科学研究支援センター		1,876	4,751	岡山市北区津島中
保健管理センター		469	668	〃 二丁目1-1
環境管理センター		675	657	〃 三丁目1-1
異分野基礎科学研究所		999	4,905	" "
■鹿田地区	135,328			
医学部、歯学部		19,893	80,067	岡山市北区鹿田町二丁目5-1
岡山大学病院		20,375	117,069	" "
自然生命科学研究支援センター		1,997	8,098	" "
保育所		420	420	" "
■東山地区	53,210			
教師教育開発センター・ 教育学部附属幼稚園・小・中学校		9,511	15,624	岡山市中区東山二丁目13-80
■平井地区	13,188			
教育学部附属特別支援学校		3,261	4,553	岡山市中区平井三丁目914
■八浜地区	89,536			
農学部附属 山陽圏フィールド科学センター八浜農場		655	655	玉野市東七区
■津高地区	312,484			
農学部附属 山陽圏フィールド科学センター津高牧場		1,721	2,278	岡山市北区日応寺
■倉敷地区	38,536			
資源植物科学研究所		5,701	10,955	倉敷市中央二丁目20-1
■三朝地区	37,433			
惑星物質研究所		4,932	11,939	鳥取県東伯郡三朝町山田827
■牛窓地区	6,956			
理学部附属臨海実験所		1,271	1,504	瀬戸内市牛窓町鹿忍130-17
課外活動研修所		255	252	" "
■芳賀地区	 % (5,787)			
産学官融合センター		572	1,138	岡山市北区芳賀5302
■その他の地区				
半田山自然教育研究林	685,388			岡山市北区津島
本島地区	23,036	433	537	香川県丸亀市本島町泊494
その他	4,653	366	603	
宿舎	28,341	6,400	28,160	
合計	2,067,710	161,549	521,282	

大学会館

N) Au						
施設名	収容人数		所在地			
正課外活動施設	540 ^人	1,005 ^m				
福利厚生施設	110	190	岡山市北区津島中 二丁目1-1			
管理施設		1,981				
合計	650	3,176				



交流広場

外国人留学生·研究員宿泊施設

	施設名	<u>3</u>	収容人数(人)	面 積(㎡)	所在地	
国際学生シェアハウス		単身者用(混住型)				
		※日本人1人、外国人留学生 3人の計4人が1ユニットで 計30ユニット(男女別)	120 2,310 岡		岡山市北区津島桑の木町6-2	
	留学生宿舎	単身者用	34 ※うち8室は 相部屋(2名1室)			
国際交流会館		世帯用	12	2,167	岡山市北区津島中三丁目1-1	
	研究者宿舎	長期単身者用	3			
		短期単身者用	用 30			
桑の木留学生宿舎	北棟	単身者用	51 ※うち1室は バリアフリー室	1,455	岡山市北区津島桑の木町6-1	
	南 棟	単身者用	100	3,324		
福居留学生宿舎		単身者用	21	825	岡山市北区津島福居二丁目10-4	

外国人留学生・研究者のための宿泊施設

本学には、桑の木留学生宿舎・福居留学生宿舎・国際交流会館・国際学生シェアハウスの4つの外国人留学生・研究員宿泊施設がある。これらは、本学の外国人留学生及び本学で研究に従事する外国人研究者に居住の場を提供し、併せて国際交流の促進に資することを目的として設置されている。国際学生シェアハウスは、外国人留学生と日本人学生に居住の場を提供するとともに、日常生活を通じて異国の言語や文化、生活習慣に接することで国際感覚を身につけたグローバル人材の育成を目的として、平成28年3月に新しく整備された。各個人の私室を確保しつつ、4人が1つのユニットとして共同生活を送る形態となっており、入寮者同士が自然と交流できる仕様になっている。いずれの宿泊施設も、大学の中心である津島地区に近く、便利な地に位置しており、居住している留学生や研究員は快適な住環境のもと、充実した勉学・研究生活を送っている。



国際学生シェアハウス

学生寮

施設名	収容人数		所在地
女子学生寮	108 ^人	2,024 ^m	岡山市北区津島桑 の木町6-2

創立五十周年記念館

施設名	収容人数		所在地
金光ホール	406 ^人	593 [㎡]	
大会議室	60	96	岡山市北区津島中
中会議室	36	76	一丁目1-1
小会議室	24	46	

交

T

Junko Fukutake Hall

施設名	収容人数		所在地
レクチャーホール	354 ^人	561.89 [㎡]	岡山市北区鹿田町
会議スペース	30	53.5	二丁目5-1

Junko Fukutake Terrace

施設名			所在地
Jテラスカフェ	40席	149.17 [㎡]	岡山市北区津島中 一丁目1-1



Junko Fukutake Hall



Junko Fukutake Terrace

地域医療人育成センターおかやま (MUSCAT CUBE)

「学ぶ・集う・繋がる」というコンセプトのもと、岡山県下の医療系学生及び医療者全体のレベル向上と地域医療への理解と関心を高めることを目的として、平成24年9月に鹿田キャンパス内に開所された。様々な地域医療の現場で今求められている『総合診療』の知識と技術を持つ医師を育成するためのシミュレーション教育プログラムの開発・実践・研究を行うと同時に、広く一般向けのセミナーや講演会を実施し、地域医療教育並びに情報発信の拠点としての役割を担っている。

岡山大学東京オフィス

UR山手線・京浜東北線田町駅東口から徒歩1分、都営地下鉄浅草線・三田線三田駅から徒歩5分の場所にあり、オフィスには 教職員が駐在している。オフィスの役割は首都圏での学生の就職活動、卒業生のフォローアップ活動、同窓会活動、研究活動、 産学官連携の支援と広報活動である。

【所 在 地】108-0023 東京都港区芝浦3-3-6 東京工業大学田町キャンパス内

キャンパス・イノベーションセンター(CIC) 6階 601号室

【利用時間】月曜日~木曜日 10:00~17:00 金曜日 10:00~16:00 (常駐職員の出張・外出などで利用できない場合あり)

福利施設

津島キャンパス内に3つの福利施設がある。

南福利施設(ピーチユニオン)は、1階にコンビニエンスショップ、トラベルサービスセンター、理容室、2・3階にカフェテリア食堂(2階227席・3階278席)、4階にレストラン(124席)がある。北福利施設(マスカットユニオン)は、1階にブックストア、2・3階にカフェテリア食堂(2階276席・3階264席)がある。東福利施設(ピオーネユニオン)は、1階にコンビニエンスショップ、2階にカフェテリア食堂(348席)がある。

岡山大学公開講座 生涯学習の一環として、教育を広く社会に開放し、教育文化の向上に資することを目的に、公開 講座を開設している。

区分	講座名	実施期間	受講対象者	受講定員
	岡山大学先端研究講座 習慣:小さな違いが生み出す大きな力(心理学の観 点から)	11月3日	一般の方(高校生以上)	50人
	憑霊信仰とジェンダー	10月16日	高校生·大学生·一般の方	50人
人文科学	反知性主義の政治思想:知識人嫌悪と普通のひと への期待	7月31日	高校生·大学生·一般の方	50人
	社会・地域と企業経営を考える	11月20日	高校生·大学生·一般の方	50人
	マヤ文明とテオティワカン遺跡	4月18日~2022年2月13日	高校生・大学生・一般の方	50人
	岡山大学先端研究講座 航空機の翼に関する空気力学	【中止】8月31日	中学生·高校生·大学生·一般の方	50人
	ダイヤモンドの先端研究	12月18日	一般の方(高校生以上)	30人
自然科学	生命工学の新展開 一生命の謎に迫る一	8月28日	高校生·大学生·一般の方	80人
	水の七不思議	9月4日	中学生·高校生·大学生·一般の方	30人
	よ~考えられぇ。プラスチックごみとの付き合い方	6月6日	一般の方(高校生以上)	50人
	極低温の世界(GSCO講座)	未定	中学生·高校生	16人
	岡山大学先端研究講座 細胞が刺激に応答するしくみ	11月5日	高校生・大学生・一般の方	50人
	現代の薬学(第32回)	【中止】7月4日	薬剤師	50人
	岡山健康講座2021-やさしい保健と健康の話-	9月1日~9月30日	一般の方	100人 程度
生命科学	摂食・嚥下リハビリテーション従事者研修会初級 コース	4月14日~7月7日	一般の方(高校生以上)	180人
土叩竹子	岡山大学摂食・嚥下障害研究会 ~食支援ネットワーク~	5月13日~2022年3月10日	一般の方(高校生以上)	90人
	最新歯科医学を学ぶ(歯科医療従事者対象リカレント教育)	9月2日~12月2日	歯科医療従事者(歯科医師、歯科衛生士、 歯科技工士)	60人
	高校生のための夏休みメディカルスクール2021	8月3日	高校生	30人
	医療Alコース(インテンシブコース)	4月1日~2022年2月28日	情報工学および保健医療に関連した医療 AIの専門的内容を学びたい方	特になし
	ジュニア体操教室(初級)	【中止】 8月18日、8月19日	小学3年生から6年生	20人
ジュニア	障害者理解について考える	10月16日~10月30日	高校生	15人
向 け	生命のはじまり『受精卵』をみてみよう	10月23日	小中学生およびその保護者の方	10組程度
	岡大ピオーネづくり名人をめざそう	6月26日、9月25日	小学4年生から6年生 ※保護者の付添いは任意	20人
	岡山大学先端研究講座 高大接続の学生支援	11月27日	一般の方(高校生以上)	50人
スキルアップ	10代からはじめるキャリア・デザイン入門	8月20日	中学生・高校生の方	20人
	「伝わる」ためのコミュニケーション力・表現力養成 講座	2022年3月13日	大学生および一般の方	16人
木 エ	木工講座:ウッド・ターニングの基礎	9月4日~9月19日	高校生・大学生・一般の方	4人
園 芸	育てて食べよう美味しい夏野菜 一家庭菜園のツボ2021ー	4月8日~9月2日	家庭菜園に興味のある一般の方	35人
芸 術	彫刻を楽しむ	【2回(6/11)中止】 5月14日~2022年2月4日	高校生・大学生・一般の方	10人
スポーツ	スポーツ講座(1回~8回)	【1回(4/21)~4回(7/14)中止】 4月21日~2022年1月19日	高校生·大学生·一般の方	各100人

※ の公開講座は、当初開講予定だったが新型コロナウイルス感染対策のため中止となったもの。(令和3年8月4日現在)

义

岡大SDGs サイエンスカフェ

SDGsに関連する内容で、かつ一般の方や中高生にも関心が高いと考えられるテーマを取り上げ、本学の研究者が最新の科学を分かりやすく解説している。

	講座名	実施期間	受講対象者	受講定員
第77回	「新型コロナウィルス感染症のこれまでとこれから」 「ワクチン接種後のコロナ感染予防と心身の健康の維持」	7月14日	社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味 のある方	200人程度

地域連携事業地域の教育機関等と連携して講座を開設している。

講座名	実施期間	受講対象者	受講定員
教育連携協議会教育連携事業 高校生のための大学講座	11月20日	高校生	各科目の定員数
大学コンソーシアム岡山「吉備創生カレッジ」	4月~9月、10月~3月	一般の方	各科目の定員数
大学コンソーシアム岡山「備美っと大学キャラバン隊」 性的マイノリティ(LGBT等)	11月21日	赤磐市内在住、 在勤、在学の方	30人程度

関連組織

国立六大学連携コンソーシアム連携機能強化推進本部

六大学(千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学、熊本大学)では、各大学の特色を生かした連携を通じて教育・学術研究を機能強化するため、国立六大学連携コンソーシアムを組織し教育プログラムの共同構築などを推進している。

岡山大学出版会

岡山大学出版会は査読・編集・販売まで一貫して行う学内組織で、学術書だけではなく、岡山大学版教科書も出版している。 岡山大学の教育・研究成果を継続的に広く発信し、学術・教育・文化の振興発展に寄与している。(平成19年4月設立)

岡山大学 Alumni (全学同窓会)

岡山大学 Alumni (全学同窓会) は、従来の同窓生を中心とした同窓会とは異なり、岡山大学の知的な営みに関わったすべての方々、すなわち、同窓生のみならず、在学生や教職員、教職員 OB、留学生、研究生等、岡山大学に関わったすべての方々を会員として、"オール岡大"で岡山大学の発展を支援するとともに、会員の皆様の発展を目指すネットワーク組織として平成25年10月に設立された。



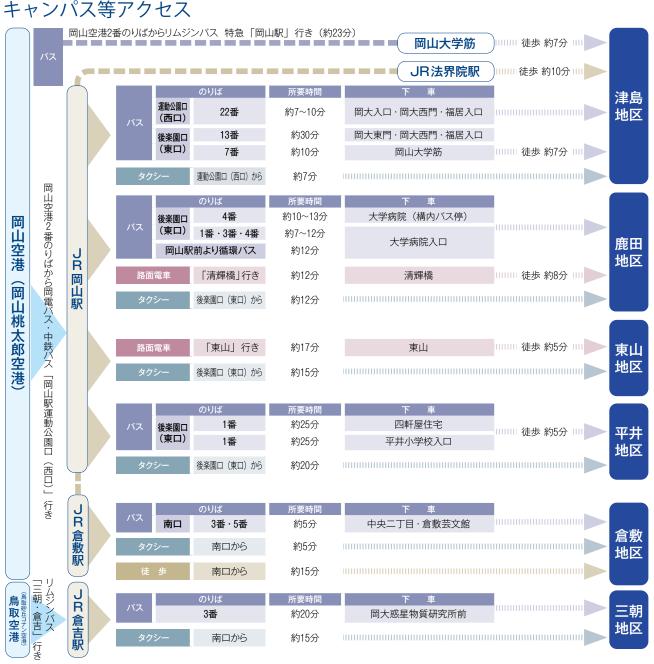




ァ



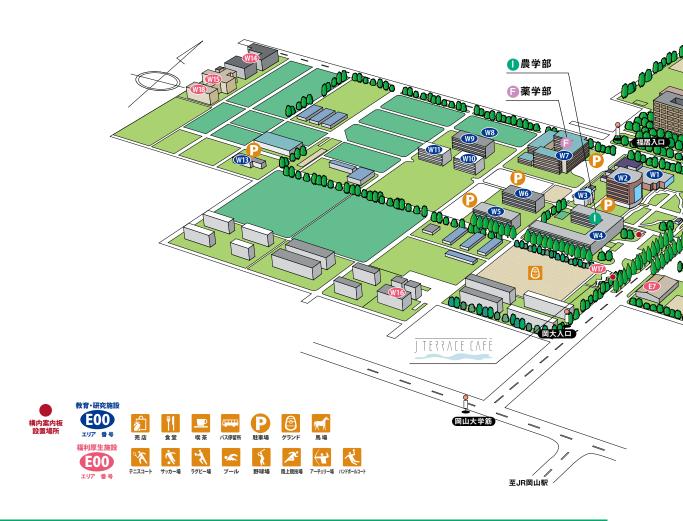
キャンパス等アクセス



津島キャンパス

△文学部 🗦教育学部 ④法学部 Đ経済学部 🗦 理学部

■薬学部 ⑥工学部 ①環境理工学部 ①農学部



津島地区北キャンパス

	文化科学系総合研究棟
N14	社会文化科学研究科
N1	法務研究科
	弁護士研修センター
	文法経2号館
	法学部
N2	経済学部
	社会文化科学研究科
	ヘルスシステム統合科学研究科
	文法経1号館
	文学部
N3	社会文化科学研究科
INO	国際連携推進センター
	ヘルスシステム統合科学研究科
	文明動態学研究所
N4	文法経講義棟
N5	文学部考古学資料室
N10	中央図書館
N11	北福利施設(マスカットユニオン)
N12 情報統括センター	
N13	埋蔵文化財調査研究センター
N14	国際交流会館
N15	福居留学生宿舎

	理学部本館
	理学部
N20	マッチングプログラムコース
	自然科学研究科
	異分野基礎科学研究所
N21	理学部2号館
INZI	界面科学研究施設
	コラボレーション・センター
N22	自然生命科学研究支援センター
	分析計測・極低温部門
N23	自然生命科学研究支援センター
	光·放射線情報解析部門津島施設
	自然科学研究科棟
N24	自然科学研究科
	ヘルスシステム統合科学研究科
	工学部1号館~14号館・16号館~20号館
N30~N43	工学部
N45~N49	自然科学研究科
	ヘルスシステム統合科学研究科
N44	旧工学部15号館
1144	工学部講義室
	旧工学部21号館
N50	自然生命科学研究支援センター
	動物資源部門津島北施設

N51	環境管理センター		
N52	自然科学系総合研究棟		
INDZ	低炭素・廃棄物循環研究センタ		
	環境理工棟		
N53	工学部・環境理工学部		
	環境生命科学研究科		
N54	新技術研究センター		
N55	東福利施設(ピオーネユニオン)		
	教育学部本館		
N61	教育学部		
1401	教育学研究科		
	教師教育開発センター		
N62	教育学部講義棟		
N63	教育学部東棟		
N64	教育学部体育棟		
N65·N66	教育学部音楽棟		
N67	弓道場		
N68	馬房		
N69	異分野基礎科学研究所棟		

織

ア



	W1	創立五十周年記念館		農学部Ⅰ号館~Ⅲ号館	W10	自然生命科学研究支援センター
	本部棟	W4~W6	農学部	VVIU	ゲノム・プロテオーム解析部門	
		法人監査室、監事支援室	VV4~ VV0	環境生命科学研究科	W11	自然生命科学研究支援センター
14/0	W2	大学本部		生殖補助医療技術教育研究センター	VVII	動物資源部門津島南施設
	VVZ	評価センター		薬学部1号館·2号館	W13	農学部IV号館
		安全衛生推進機構	W7	薬学部	VVIO	山陽圏フィールド科学センター
		研究推進機構		医歯薬学総合研究科	W14	桑の木留学生宿舎
		旧事務局庁舎		ヘルスシステム統合科学研究科	W15	女子学生寮
/ //3	地域総合研究センター	W8	薬用植物園	W16	津島宿泊所	

津島地区東キャンパス

津島地区西キャンパス

E1	南福利施設(ピーチユニオン)
	大学会館
F2	全学教育・学生支援機構
E 2	高大接続・学生支援センター
	キャリア・学生支援室
E3	保健管理センター
	一般教育棟A~C棟
	全学教育・学生支援機構
F4	高等教育開発推進センター
C4	基幹教育センター
	高大接続・学生支援センター
	学生相談室

学都おかやま共創本部 ダイバーシティ推進本部

	学務部
F4	国際部
⊏4	グローバル人材育成院
	L-café
	一般教育棟D·E棟
	全学教育·学生支援機構
	高大接続・学生支援センター
E5	障がい学生支援室
	スポーツ支援室
	グローバル・ディスカバリー・
	プログラム

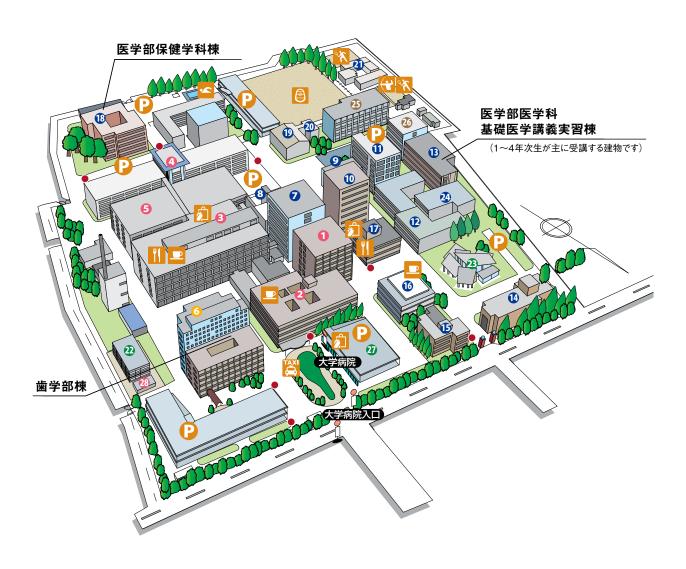
岡山大インキュベータ (中小企業基盤整備機構)

E6	清水記念体育館
E7	第二体育館
E8	第一武道館
E9	第二武道館
E10	体育管理施設
E11	校友会文化系クラブ棟
E12	校友会体育系クラブ棟
E13	校友会トレーニング棟
E14	合宿所

Junko Fukutake Terrace

W18 国際学生シェアハウス

鹿田キャンパス



鹿田地区					
1_	管理棟	16	附属図書館鹿田分館		
2	外来診療棟(医科)	17	記念会館		
3	中央診療棟	18	保健学科棟		
4	入院棟	19	体育館		
5	総合診療棟	20	武道場		
6	歯学部棟・外来診療棟(医科・歯科)	21	校友会クラブ棟		
7	臨床研究棟	22	地域医療人育成センターおかやま(MUSCAT		
8	臨床講義棟及び病理部		CUBE)		
9	旧RI研究センター	23	Junko Fukutake Hall		
10	総合教育研究棟	24	医歯薬融合型教育研究棟		
11	基礎研究棟	25	自然生命科学研究支援センター 動物資源部門鹿田施設		
12	基礎医学棟 中性子医療研究センター	26	当初受験が同じた出版的		
13	基礎医学講義実習棟	27	鹿田パーキングモール		
14	鹿田会館・講堂(旧生化学棟)				
15	医学資料棟(旧栄養学棟)	28	総合トリアージ・ステーション		

織

員

アク

交





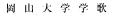
教育学部附属特別支援学校

倉敷地区



三朝地区









昭和34年、創立10周年を記念して学歌を制定することになり、歌詞を募集したが、応募作品中該当作品がなかったので、教育学部久坂教授に依嘱し、歌詞を制定した。

その後歌詞が決定したので、作曲を募集したが、作曲も 入選作品がなかったので、東京芸術大学名誉教授松本民 之助氏に作曲を依嘱して、現在の学歌ができあがった。

岡山大学学生歌



学生歌について

昭和28年度学友会(現:校友会)委員から学生歌を作成 したいとの意向があり、「みんなで歌える歌、創設期を脱して さらに発展をめざすとき、躍進岡大を象徴するもの」という主 旨のもと、一般学生から歌詞を募集した。

選考委員会で諮った結果、三沢信弘作詞のものに決定し、 作曲は宮原禎次NHK嘱託に依頼し現在の学生歌になった。

その後昭和30年度、昭和32年度にも募集して二曲の学生 歌が作られている。



平成11年5月、マークデザイナー・宮崎利一氏、アートディレクター・橋ケ谷佳正教育学部教授による作品このマークは、Okayamaの「O」とUniversityの「U」から形作られ、鳥のごとく未来に向かって羽ばたき、光輝く岡山大学の姿を表現している。



Okayamaの「O」Universityの「U」をデザインの モチーフにしている。全体のフォルムは常に世界に向 かって開かれる「知の扉」を表現しており、岡山から 「知のコミュニケーション」が始まってゆく様をイメージ している。平成24年4月に、コミュニケーションシンボル として制定された。



岡山大学

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目|番|号

お問合せ窓口: 岡山大学総務・企画部 広報課

Tel. 086-252-1111 Fax. 086-251-7294

E-mail www-adm@adm.okayama-u.ac.jp 集 : 岡山大学総務·企画部 広報課

https://www.okayama-u.ac.jp/

岡山大学

検索